



第2期 新潟広域都市圏ビジョン



令和3年3月
新 潟 市

目次

1. ビジョンの策定趣旨	1
2. 圏域の概要	2
(1) 連携中枢都市圏の名称	2
(2) 構成市町村の名称	2
(3) 圏域の現況	3
(4) 新潟市への通勤通学割合	5
(5) 圏域の社会動態	6
(6) 圏域の経済状況	8
3. 圏域の将来像	19
(1) 目指すべき将来像	19
(2) 現在人口及び将来推計人口	19
(3) 将来の目標人口	20
4. 将来像の実現に向けた取組	21
(1) 取組の方向性	21
(2) 取組期間	23
(3) 成果指標（基本目標）	23
(4) 進捗管理	23
参考資料 圏域の各種情報	24
(1) 都市機能の集積状況	24
ア 医療機関	24
イ 高等教育機関	26
ウ 経済団体（主なもの）	29
エ 金融機関	29
オ 商業施設	30
カ 工業団地	30
キ 農業団体	30
ク 観光・コンベンション施設	31
ケ 文化・スポーツ施設	33
コ 行政機関等	34
サ 交通ネットワーク	35
(2) 圏域における連携協約以外の事務の共同処理	38
ア 協議会	38
イ 機関等の共同設置	38

ウ 事務の委託.....	38
エ 一部事務組合	38
オ 広域連合	39
カ 定住自立圏.....	39
(3) 都市機能の連携イメージ	40

【別冊】

具体的な取組

- 1 圏域全体の経済成長のけん引
- 2 高次の都市機能の集積・強化
- 3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

1. ビジョンの策定趣旨

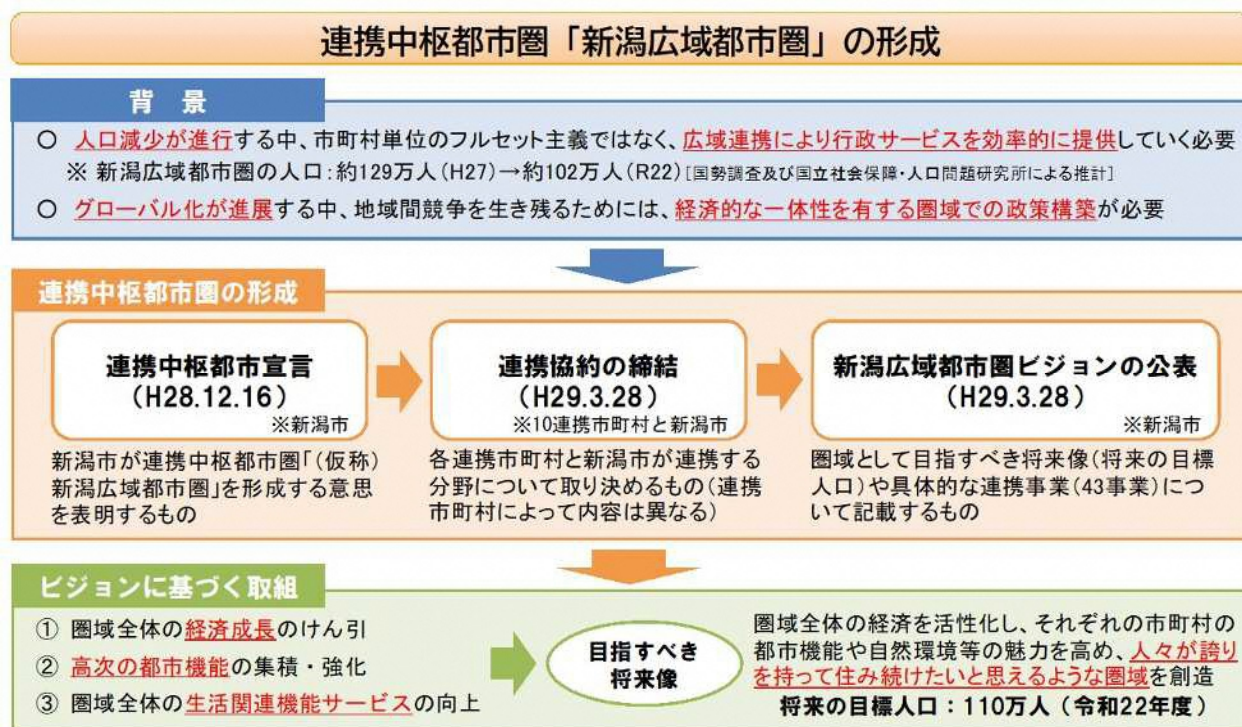
全国的に人口減少や少子高齢化が進行している中、新潟広域都市圏（※）においても例外ではなく、今後住民に対して継続的に行政サービスを提供していくためには、市町村単位でのフルセット主義ではなく、市町村間の広域的な連携を深めていく中で、行政サービスを効率的に提供していく必要があります。

また、グローバル化を続ける経済社会の中で、厳しい地域間競争を生き残っていくためには、市町村という行政区域だけに捉われず、経済的な一体性を有する広域都市圏の単位で政策を構築し、それぞれの市町村の強みを発揮しながら圏域全体が継続的な成長エンジンとなることが求められます。

このような背景を踏まえ、新潟市では平成28年12月に「連携中枢都市宣言」を行ったところであり、その中で、圏域全体の経済を活性化し、それぞれの市町村の都市機能や自然環境等の魅力を高め、人々が誇りを持って住み続けたいと思えるような圏域を創造していくため、①圏域全体の経済成長のけん引、②高次の都市機能の集積・強化及び③圏域全体の生活関連機能サービスの向上を図っていくこととしています。

本ビジョンは、中長期的な「圏域の将来像」を明らかにするとともに、これら3つの政策分野での当面の「具体的な取組」を示すものです。

※ 新潟市への通勤通学割合が5%以上の新潟市、三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町及び阿賀町の12市町村を含む圏域



2. 圏域の概要

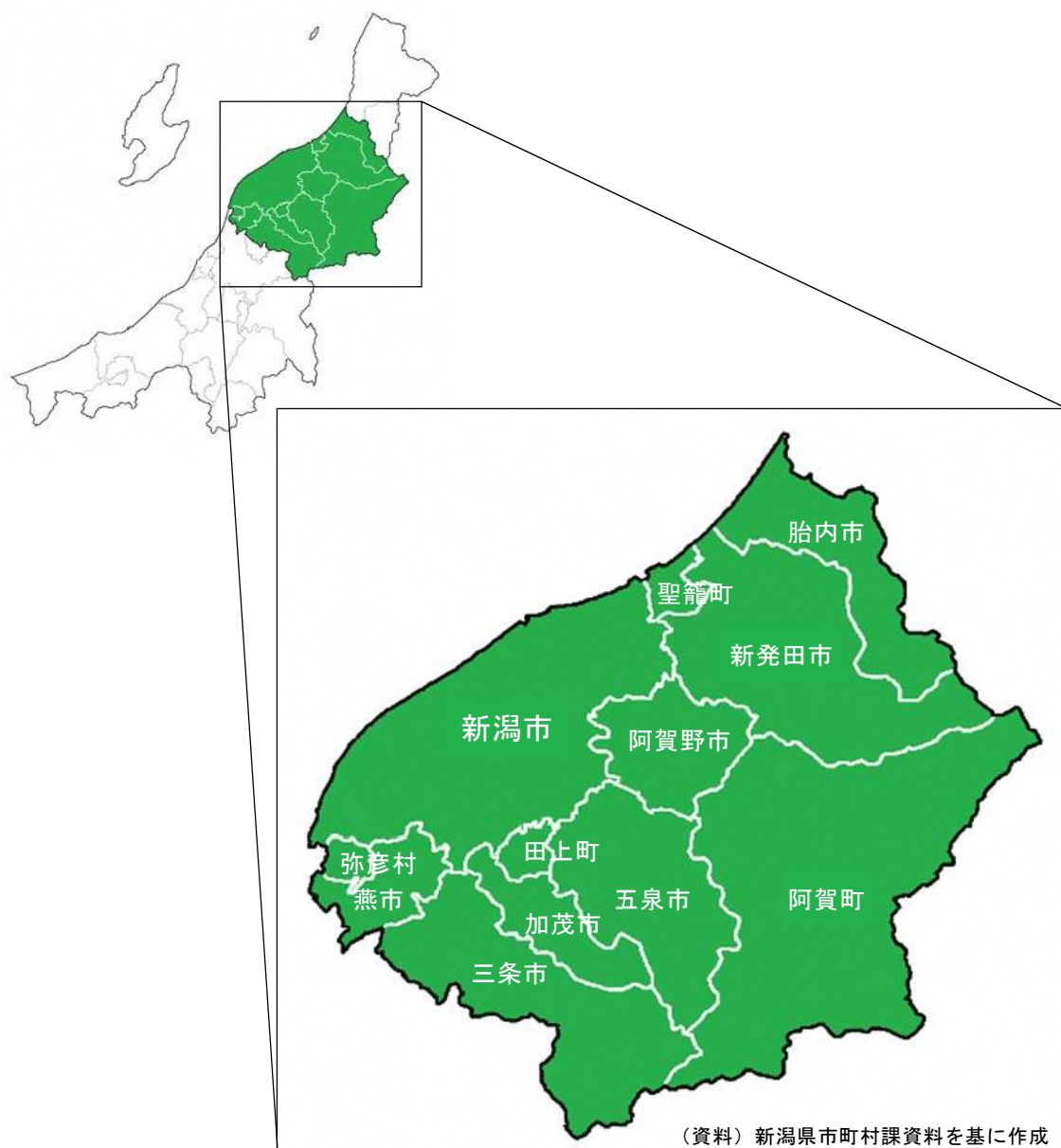
(1) 連携中枢都市圏の名称

新潟広域都市圏

(2) 構成市町村の名称

新潟市、三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町及び阿賀町（12 市町村）

[新潟県内における圏域位置図]



（３）圏域の現況

新潟広域都市圏は、新潟県の中央部から北部にかけて位置しており、平成 27 年国勢調査によると、人口は 128 万 6,730 人で新潟県全体の約 56%、面積は 3,792.90 km² で新潟県全体の約 30%を占めています。

地形面では、東側に越後山脈や飯豊山地が連なり、西側は日本海に面しているほか、圏域内には信濃川や阿賀野川が流れて広大で肥沃な越後平野を形成しているなど、豊かな自然環境に恵まれた圏域です。

産業面では、全国随一の米どころであることを反映して、米菓等の食料品製造業が発達しているほか、洋食器、作業工具等の金属製品製造業やニット等の繊維工業が盛んな地域もあります。

主な農水産物としては、コシヒカリ等の米をはじめとして、越後姫(苺)、新潟枝豆、帛乙女(里芋)、ル レクチエ(洋梨)、南蛮エビなど、旬を感じられる食材が豊富です。

さらに、交通ネットワークとしては、高速道路（北陸自動車道、磐越自動車道及び日本海東北自動車道）や鉄道（上越新幹線等）、空港（新潟空港）、港湾（新潟港）等が充実しています。

新潟広域都市圏の人口及び面積

	人口 (人)	面積 (km ²)	市町村の特徴・魅力
新潟市 	810,157	726.27	歴史や文化財、郷土芸能、花や豊富な食材、豊かな自然などの魅力があり、国際空港や港湾、新幹線、高速道路網などが整備された交通拠点であると同時に、国内最大の水田面積を持つ大農業都市でもあるという、他の都市には見られない特徴を兼ね備えている。
三条市 	99,192	431.97	新潟県中央地域の玄関口として新幹線、高速道路網を備え、金属加工を中心とした地場産業が根付いた都市であり、進取果敢な気風が育んだものづくりの伝統、歴史と文化が息づく小路や町並み、四季折々の趣を見せる豊かな自然など、大都市にはない多彩な魅力にあふれている。
新発田市 	98,611	533.11	山や海、川などの豊かな自然と、城下町の面影を残す町並みが広がる。二王子岳を水源とする広大な平野は、農業、食品加工業が発展し「食」と「農」による産業の基盤を形成。全国的にも有名な「月岡温泉」や夏祭りを彩る「新発田台輪」などの観光資源を有する。
加茂市 	27,852	133.72	風情を感じさせる街並みや、古くから京都との関わりがあったことから「北越の小京都」といわれているまち。加茂山、加茂川に代表される豊かな自然と、それを活かした祭りやイベントが魅力となっている。
燕市 	79,784	110.94	越後平野のほぼ中央に位置し、金属洋食器、金属ハウスウエア製品の国内主要産地として県下有数の工業地帯を形成。さらに、良寛ゆかりの地であるとともに、大河津分水が日本さくら名所 100 選に選ばれるなど、産業と歴史と自然が調和した地域である。
五泉市 	51,404	351.91	2006年に「ファッションと清流のまち」旧五泉市と「歴史とさくらの城下町」旧村松町が合併し誕生した。緑豊かな山々と清流に包まれた肥沃な大地から豊かな実りがもたらされ、数多くの特産物を出荷しており、また、絹織物とニット産業は、全国的な産地となっている。
阿賀野市 	43,415	192.74	阿賀野川と五頭連峰の間に形成された扇状地に水田が広がり、隣接する新潟市のベッドタウンの側面を持つ。冬季には、約5千羽の白鳥が渡来する「瓢湖」や、ラジウム温泉地「五頭温泉郷」があり、自然豊かで、歴史と文化を活かした地域づくりを行っている。
胎内市 	30,198	264.89	胎内川を中心とした山・川・海の豊かな自然に恵まれたリゾート地として知られている。基幹産業は農業であるが、工業団地を造成し、工業都市としての基盤も確立。「チューリップフェスティバル」等のイベントや国史跡の「城の山古墳」、ワインや米粉加工品等の特産品もある。
聖籠町 	14,040	37.58	果樹栽培が盛んで、古くから「果樹の里」と呼ばれ、サクランボやブドウなど数多くの果樹を生産している。また、日本海側における物流とエネルギーの拠点となっている新潟東港があり、隣接する「新潟東港工業地帯」は日本海側最大規模の工業団地として町の発展を支えている。
弥彦村 	8,209	25.17	越後一宮「彌彦神社」の御祭神、天香山命（あめのかごやまのみこと）が越後の民に様々な産業の基礎を授けたと伝えられていることから、越後文化発祥の地と言われている。四季折々の美しい自然や、温泉などの観光資源にも恵まれ、新潟県内屈指の観光地となっている。
田上町 	12,188	31.71	新潟市の南東に隣接する、山と田園、信濃川に囲まれた町。農業が盛んで、米はもちろん、桃、梅、たけのこなどが有名。また、「薬師の湯」として親しまれる「湯田上温泉」、山頂のあじさい園が美しい「護摩堂山」など観光地としての魅力も備えている。
阿賀町 	11,680	952.89	新潟県東部に位置し、かつて福島県（会津藩）に属していたことから、全国的にも珍しい「両属の地」として会津と越後双方の歴史と文化が垣間見える町であり、飯豊山や御神楽岳を代表とする多くの山々、大河・阿賀野川と清流・常浪川の流に恵まれた、美しい山河の里である。
新潟広域都市圏	1,286,730	3,792.90	
新潟県（参考）	2,304,264	12,583.96	

（資料）総務省「平成 27 年 国勢調査」

国土地理院「令和 2 年全国都道府県市区町村別面積調(10 月 1 日時点)」

（４）新潟市への通勤通学割合

新潟広域都市圏内市町村（新潟市を除く。）における新潟市への通勤通学割合*は 17.82% となっており、新潟広域都市圏は社会経済的な一定のまとまりを有していると言えます。

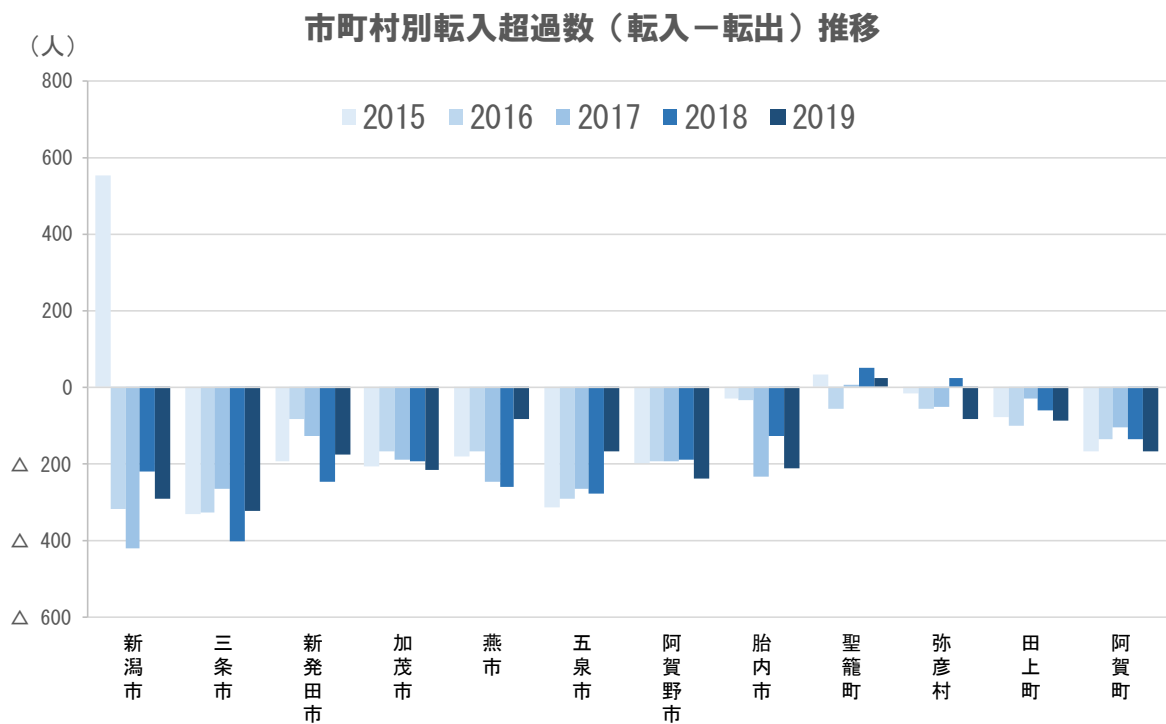
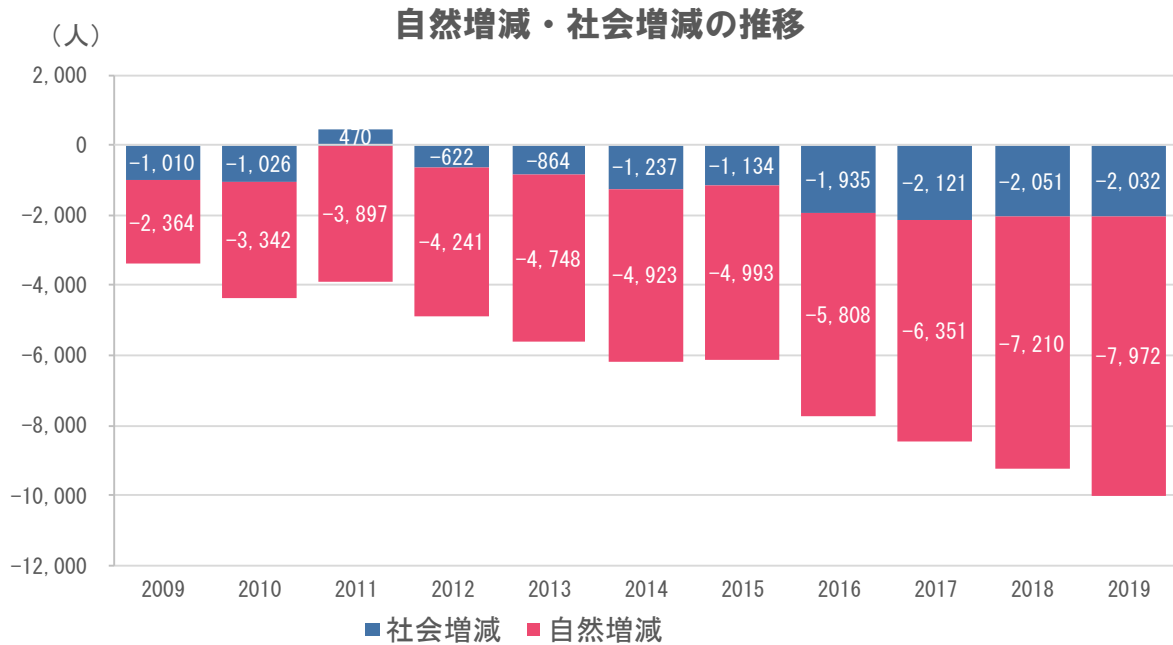
市町村	就業者・通学者 (15 歳以上) (A)	新潟市への 就業者・通学者 (15 歳以上) (B)	新潟市への通勤通学 割合 (B/A)
新潟市	400,159 人	351,708 人	87.9%
三条市	48,962 人	3,667 人	7.5%
新発田市	47,676 人	9,328 人	19.6%
加茂市	12,980 人	2,287 人	17.6%
燕市	40,562 人	5,897 人	14.5%
五泉市	24,181 人	7,007 人	29.0%
阿賀野市	20,940 人	6,882 人	32.9%
胎内市	14,143 人	1,306 人	9.2%
聖籠町	7,132 人	1,933 人	27.1%
弥彦村	4,101 人	791 人	19.3%
田上町	5,815 人	1,674 人	28.8%
阿賀町	4,843 人	456 人	9.4%
12 市町村 計	631,494 人	392,936 人	62.2%
新潟市を除く 11 市町村 計	231,335 人	41,228 人	17.8%

（資料）総務省「平成 27 年 国勢調査」

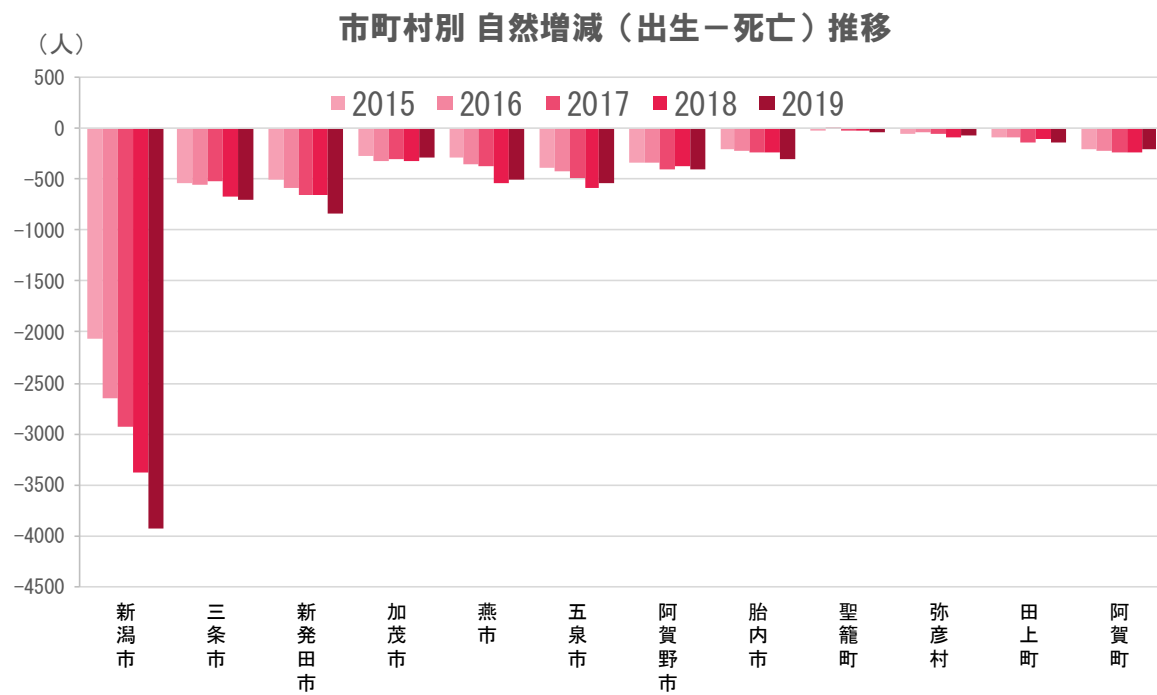
* 新潟市への通勤通学割合・・・各市町村から新潟市（連携中枢都市）へ通勤・通学している人数を、各市町村に常住する就業者数及び通学者数で除して得た数値（15 歳以上で集計）

（５）圏域の社会動態

自然増減については、減少幅が年々拡大し、2019 年では 7,972 人の減少となった。社会増減については、増加に転じる年や、減少幅が前年より縮小した年もあるが、長期的には減少が拡大している。市町村別でも多くの構成市で同様の傾向が見られる。



（資料）厚生労働省「人口動態調査」、新潟県「新潟県人口移動調査」



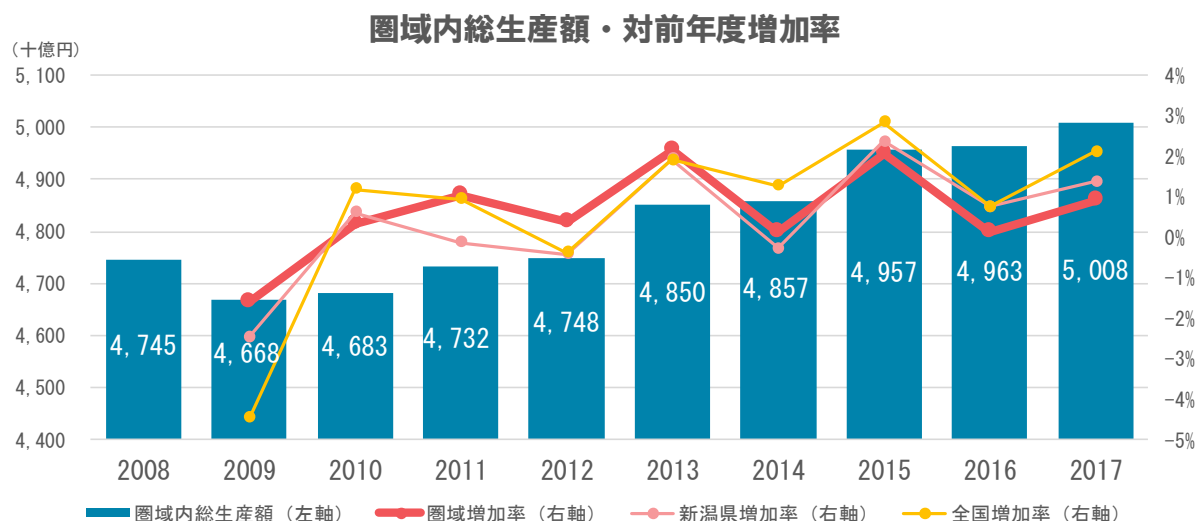
（資料）厚生労働省「人口動態調査」

(6) 圏域の経済状況

ア 産業

a 圏域の総生産額の推移

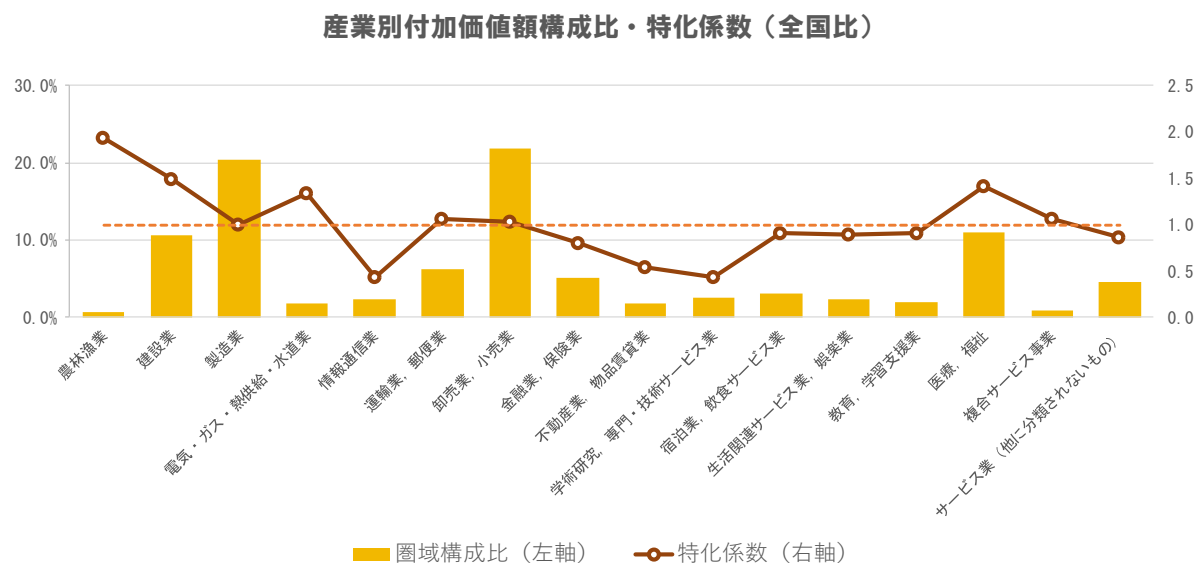
2009 年以降、圏域の総生産額は常に前年を上回って増加している。対前年度の増加率では県や全国と同様に推移しているが、2015 年以降は圏域の成長率が両者を下回っている。



(資料) 新潟県「市町村民経済計算」

b 産業別付加価値額構成比

圏域内の産業別の付加価値額（※1）については、卸売業・小売業や製造業、建設業、医療・福祉の割合が高い。また、特化係数（※2）では、農林漁業や建設業、医療福祉などの水準が高く、全国と比較すると稼ぐ力が相対的に高いことを示している。



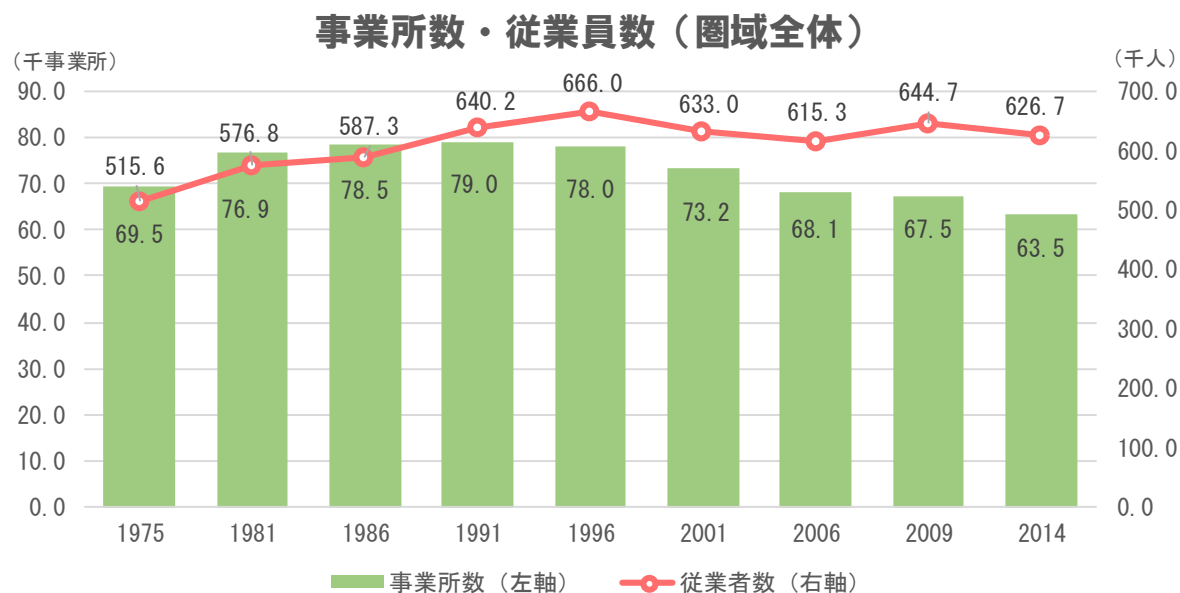
※1 付加価値額 = 売上高 - 費用総額 + 給与総額 + 租税公課

※2 特化係数 = 圏域内の構成比率を全国の構成比率で除したもの。1 より大きければその産業が高い水準にあることを示す。

(資料) 総務省・経済産業省「平成 28 年 経済センサス」

c 圏域の事業所数・従業員数の推移

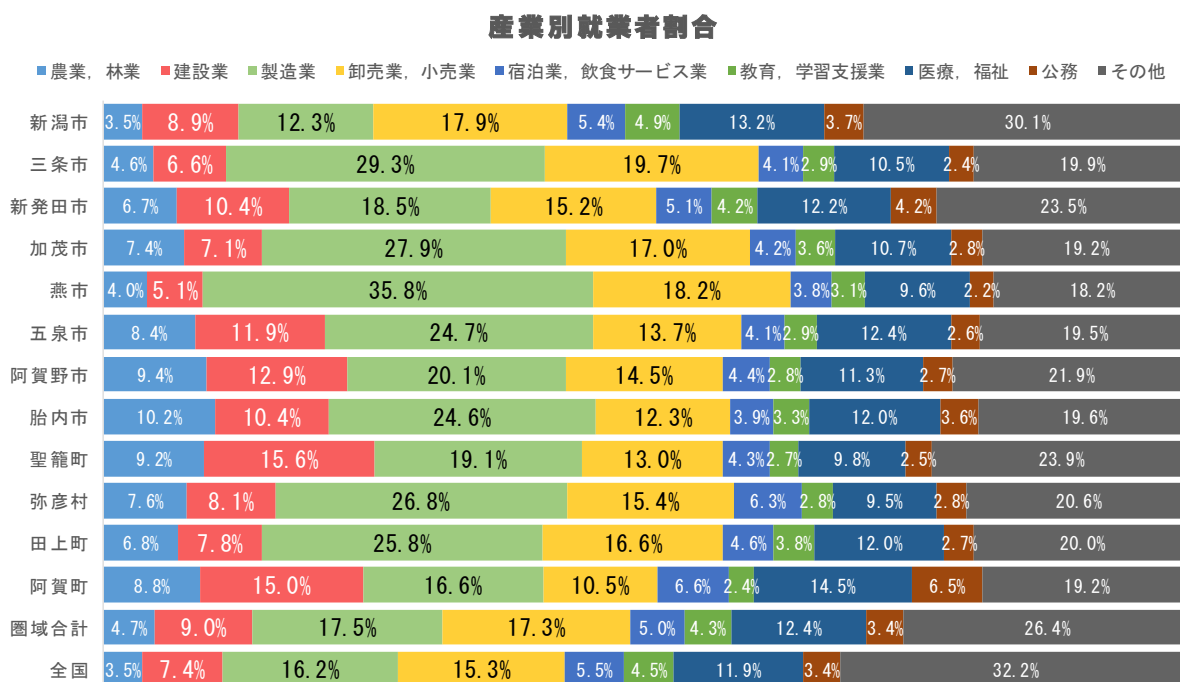
事業所数は1991年を境に減少傾向にあるが、従業員数は1990年代以降、同程度の水準を保っている。



（資料）総務省「事業所・企業統計調査」、「経済センサス」

d 圏域の産業別就業者割合

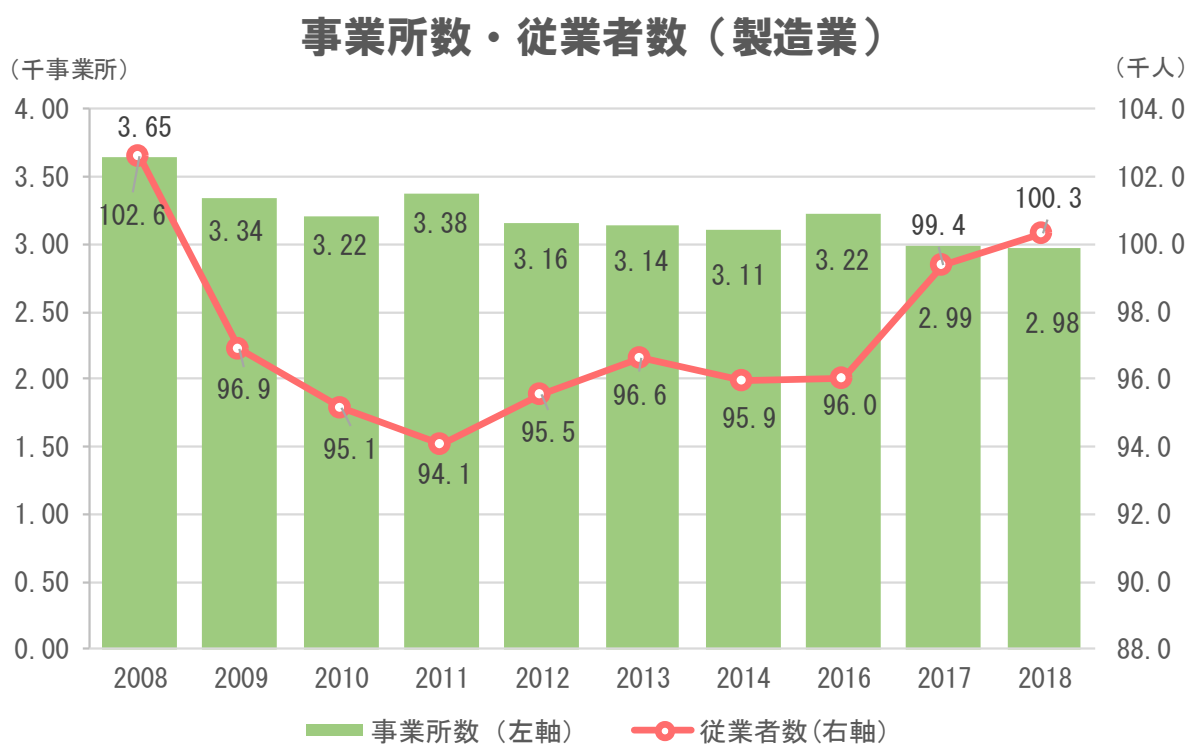
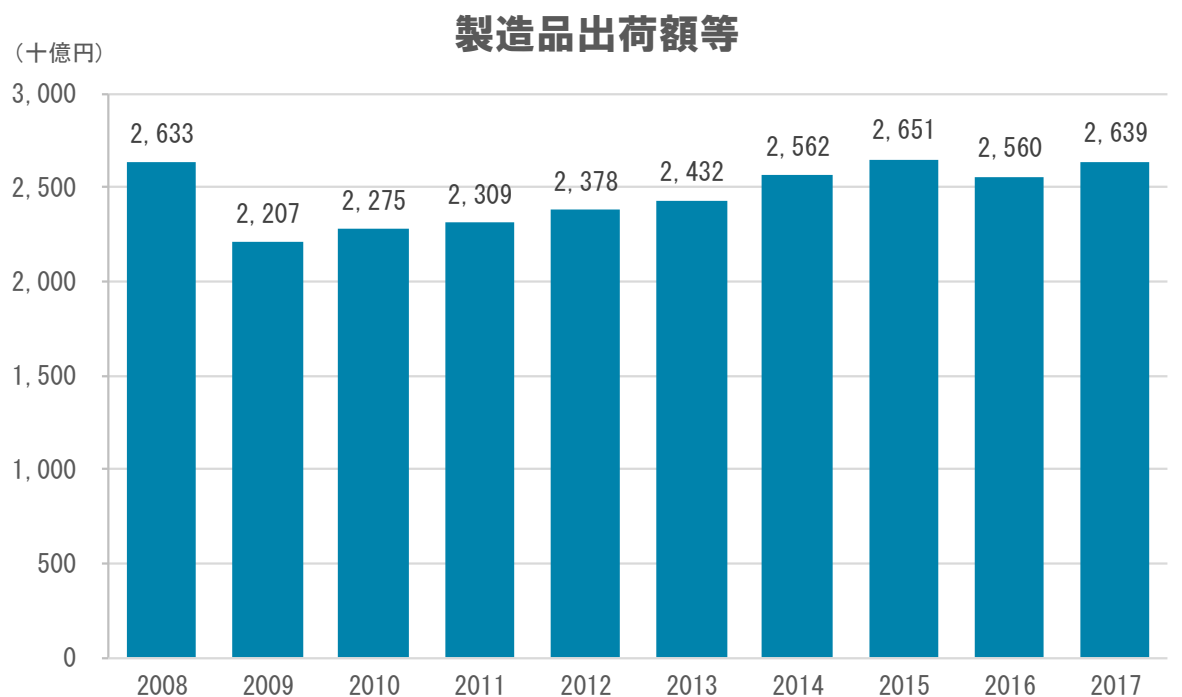
新潟市や圏域合計では全国と同様の傾向が見られるが、その他構成市町村においては全体的に農業・林業などの一次産業や建設業・製造業などの二次産業の割合が高くなっている。



（資料）総務省「平成27年 国勢調査」

e 製造業の製造品出荷額等・事業所数・従業者数

圏域の製造業の製品出荷額等は、2009 年ごろのリーマンショックによる大幅な落ち込み前と同程度の水準まで回復している。事業所数は徐々に減少しているが、従業者数は 2011 年を境に増加傾向にある。



※製造品出荷額等・事業所数・従業者数は、従業者 4 人以上の事業所を集計

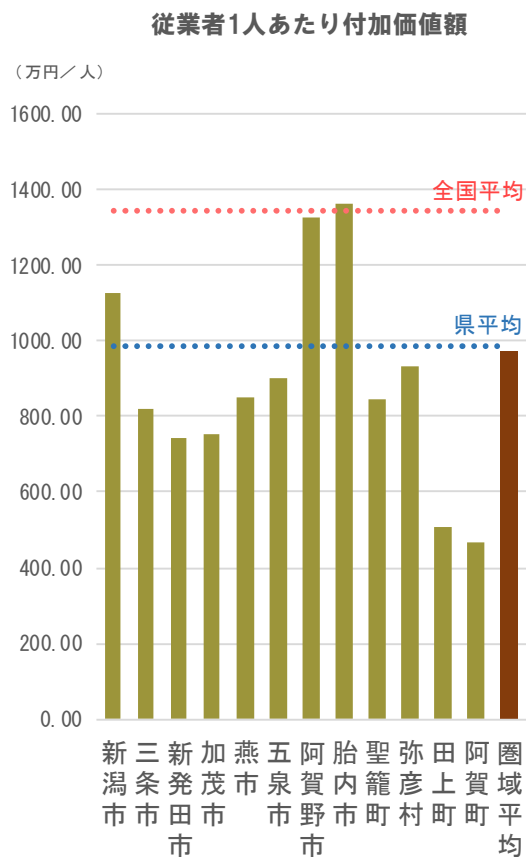
(資料) 経済産業省「工業統計調査」、総務省・経済産業省「経済センサス」

f 製造業の付加価値額

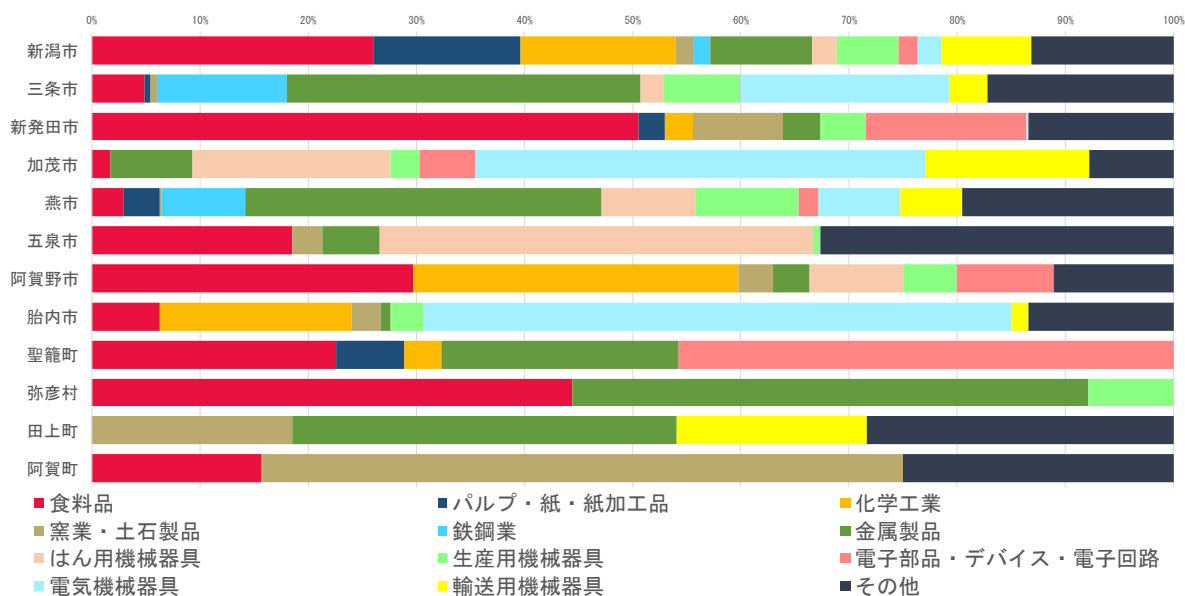
製造業における付加価値額については、新潟市・三条市・燕市で6割以上を占めている。
従業員1人当たりの付加価値額では、胎内市以外は全国平均を下回っている。

□市町村別 付加価値額・従業員数

市町村	付加価値額		従業員数	
	万円	(構成比)	人	(構成比)
新潟市	41,082,222	(42.4%)	36,397	(36.6%)
三条市	11,017,852	(11.4%)	13,419	(13.5%)
新発田市	5,694,483	(5.9%)	7,660	(7.7%)
加茂市	2,206,038	(2.3%)	2,936	(3.0%)
燕市	14,202,343	(14.7%)	16,680	(16.8%)
五泉市	4,848,845	(5.0%)	5,385	(5.4%)
阿賀野市	5,768,114	(6.0%)	4,338	(4.4%)
胎内市	5,249,600	(5.4%)	3,854	(3.9%)
聖籠町	4,940,629	(5.1%)	5,825	(5.9%)
弥彦村	1,046,612	(1.1%)	1,119	(1.1%)
田上町	586,027	(0.6%)	1,160	(1.2%)
阿賀町	273,770	(0.3%)	587	(0.6%)
圏域合計	96,916,535	(100.0%)	99,360	(100.0%)



【参考】各市における付加価値額構成割合



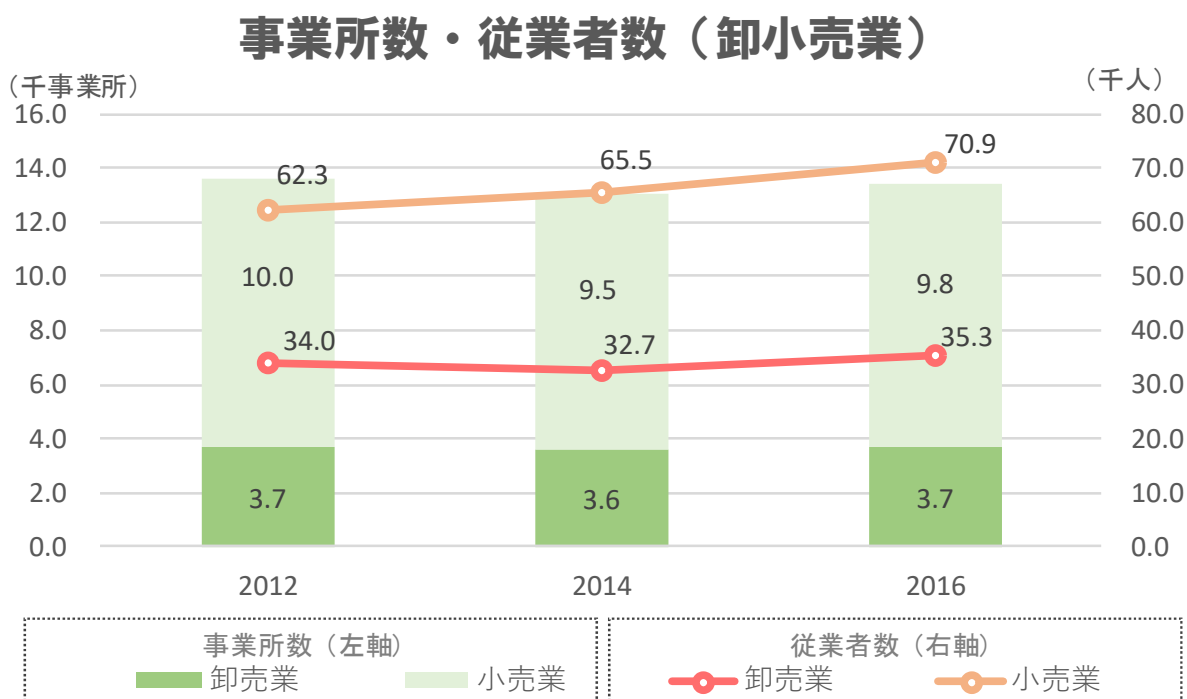
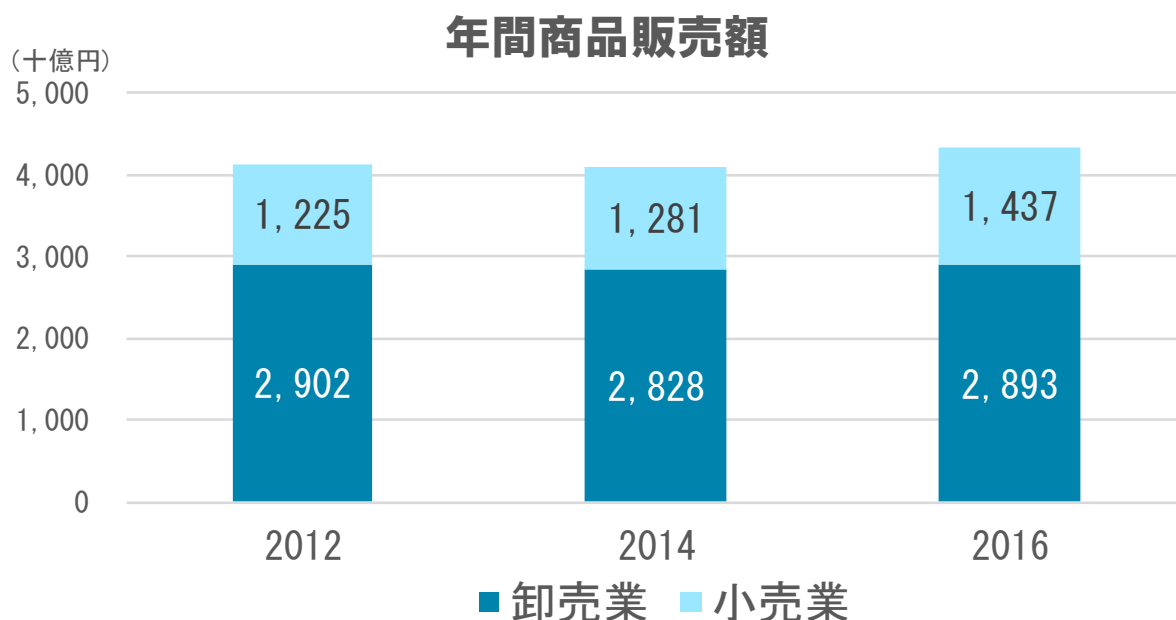
※付加価値額・従業員数は、従業員4人以上の事業所を集計

(資料) 経済産業省「平成29年 工業統計調査」

g 卸小売業の年間商品販売額・事業所数・従業員数

年間商品販売額については、小売業の伸びにより全体額は増加している。事業者数は全体的に横ばいではあるが、従業者数も小売業が増加傾向にある。

年間商品販売額は新潟市が突出して多い。1人当たりの金額では、卸売業の水準は全国平均を大きく下回っており、小売業でも聖籠町以外は全国平均を下回っている。



(資料) 経済産業省「平成 26 年 商業統計調査」

総務省・経済産業省「平成 24 年・平成 28 年 経済センサス」

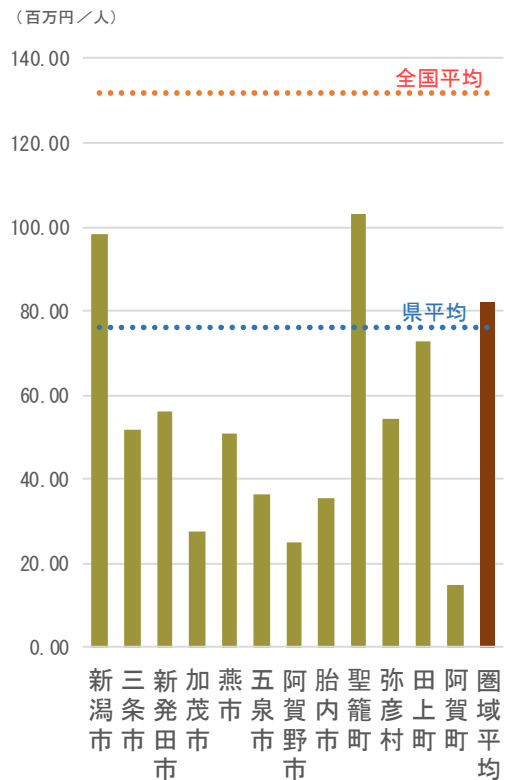
口市町村別 年間商品販売額・従業者数（卸売業）

市町村	年間商品販売額（※）		従業者数	
	百万円	（構成比）	人	（構成比）
新潟市	2,270,776	（78.5%）	23,148	（65.5%）
三条市	291,642	（10.1%）	5,659	（16.0%）
新発田市	75,766	（2.6%）	1,352	（3.8%）
加茂市	4,922	（0.2%）	179	（0.5%）
燕市	183,277	（6.3%）	3,607	（10.2%）
五泉市	13,413	（0.5%）	371	（1.0%）
阿賀野市	4,917	（0.2%）	197	（0.6%）
胎内市	8,707	（0.3%）	244	（0.7%）
聖籠町	17,544	（0.6%）	170	（0.5%）
弥彦村	9,635	（0.3%）	177	（0.5%）
田上町	10,792	（0.4%）	148	（0.4%）
阿賀町	1,224	（0.0%）	82	（0.2%）
圏域合計	2,892,615	（100.0%）	35,334	（100.0%）

※年間商品販売額は平成27年の数値

（資料）総務省・経済産業省「平成28年 経済センサス」

従業者1人あたり年間商品販売額（卸売業）



【参考】平成27年 年間商品販売額（卸売業・品目別）

順位	品目	年間商品販売額 （百万円）
1	農畜産物・水産物	427,255
2	食料・飲料	409,182
3	他に分類されない卸売業	253,153
4	医薬品・化粧品等	233,468
5	鉄鋼製品	209,889
6	産業機械器具	197,446
7	電気機械器具	184,048
8	建築材料	181,263
9	石油・鉱物	152,348
10	自動車	110,470

※小分類の品目での集計がない町村分を除く

（資料）総務省・経済産業省「平成28年 経済センサス」

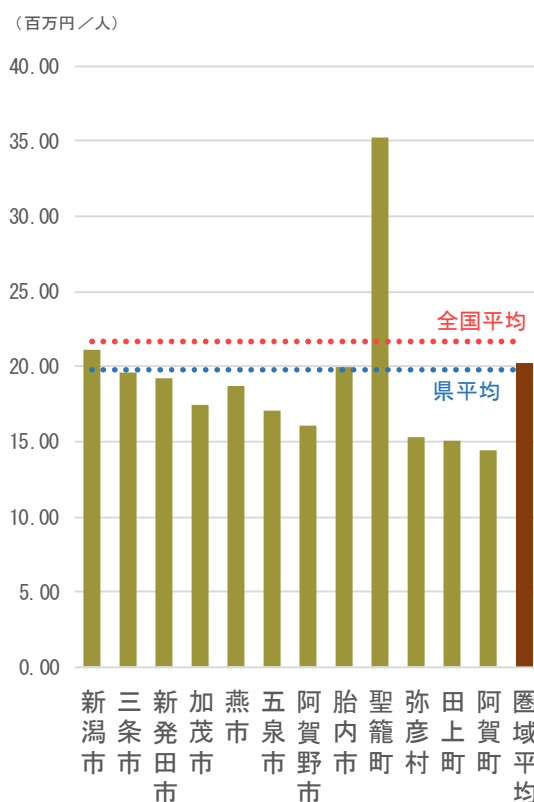
口市町村別 年間商品販売額・従業者数（小売業）

市町村	年間商品販売額（※）		従業者数	
	百万円	（構成比）	人	（構成比）
新潟市	961,104	（66.9%）	45,657	（64.4%）
三条市	111,645	（7.8%）	5,719	（8.1%）
新発田市	114,855	（8.0%）	5,970	（8.4%）
加茂市	26,563	（1.8%）	1,528	（2.2%）
燕市	86,635	（6.0%）	4,617	（6.5%）
五泉市	44,086	（3.1%）	2,592	（3.7%）
阿賀野市	30,314	（2.1%）	1,892	（2.7%）
胎内市	25,267	（1.8%）	1,262	（1.8%）
聖籠町	20,748	（1.4%）	590	（0.8%）
弥彦村	4,471	（0.3%）	293	（0.4%）
田上町	4,107	（0.3%）	272	（0.4%）
阿賀町	7,214	（0.5%）	502	（0.7%）
圏域合計	1,437,009	（100.0%）	70,894	（100.0%）

※年間商品販売額は平成27年の数値

（資料）総務省・経済産業省「平成28年 経済センサス」

従業者1人あたり年間商品販売額（小売業）



【参考】平成27年 年間商品販売額（小売業・品目別）

順位	品目	年間商品販売額 （百万円）
1	各種食料品	228,265
2	自動車	181,190
3	燃料	140,085
4	医薬品・化粧品	130,544
5	百貨店、総合スーパー	95,131
6	その他の飲食料品	89,334
7	機械器具（自動車、自転車を除く）	87,508
8	他に分類されない小売業	67,650
9	通信販売・訪問販売	41,515
10	婦人・子供服	40,315

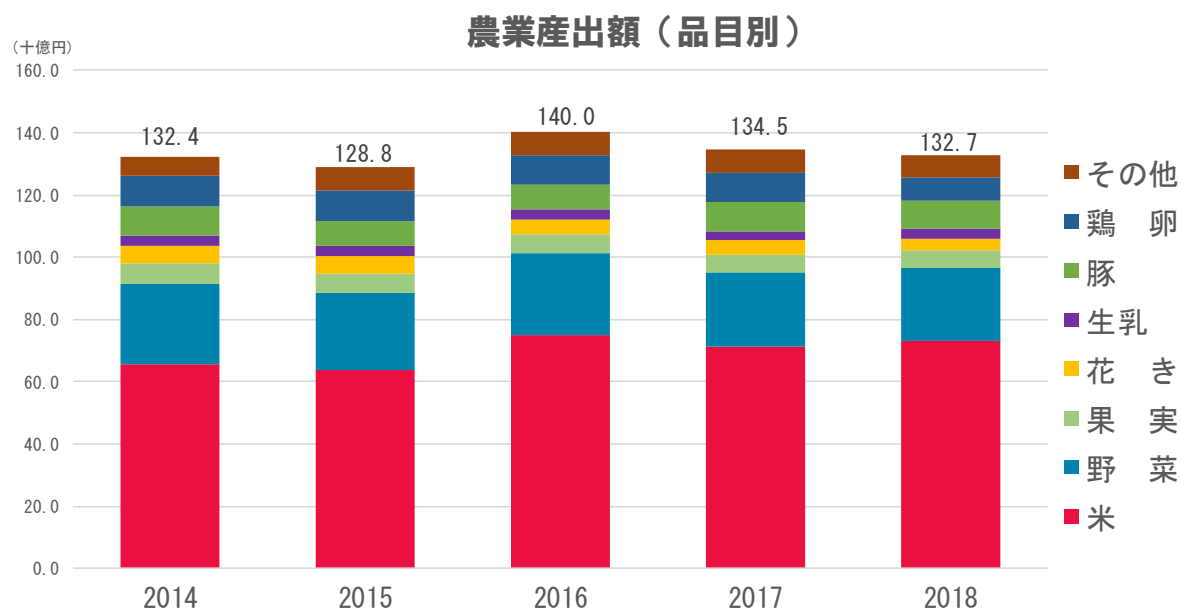
※小分類の品目での集計がない町村分を除く

（資料）総務省・経済産業省「平成28年 経済センサス」

h 農業の産出額・販売農家数・農業就業人口・経営耕地面積

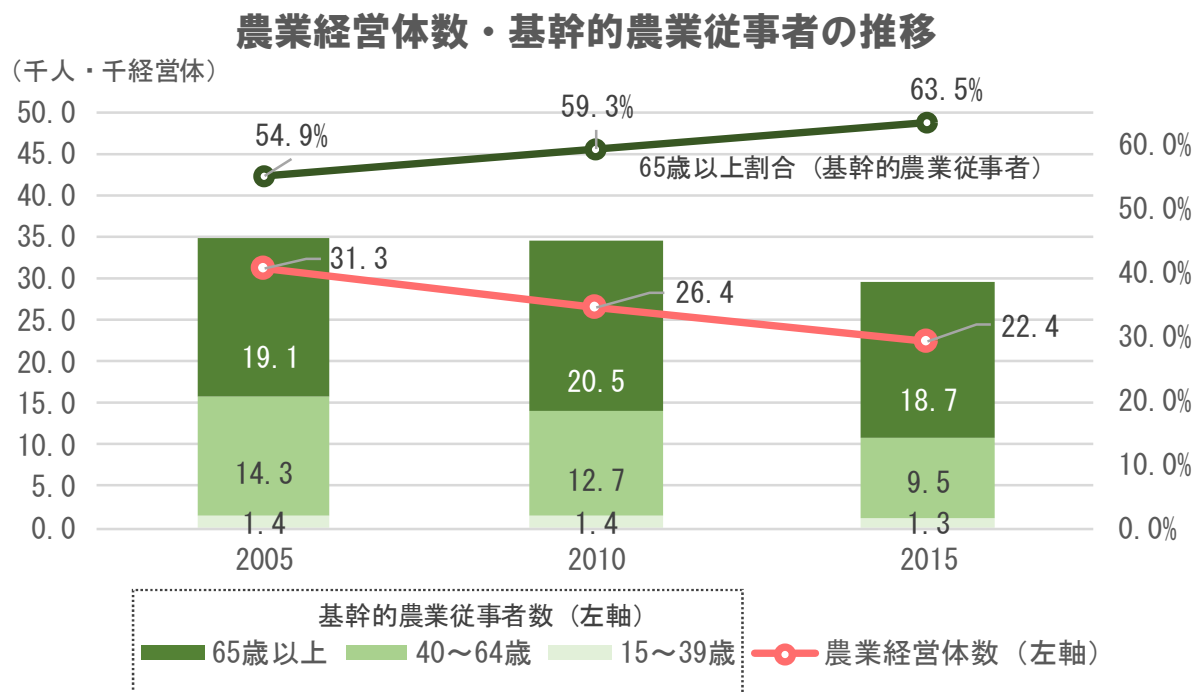
圏域内の農業出荷額においては、米・野菜で約7割を占めており、特に米の割合が非常に高い。全体の産出額の増減に対する寄与度も同じく米の影響が大きい。

農業経営体数や基幹的農業従事者数は年々減少しており、高齢化も進んでいる。



※秘匿値を除いて算定

(資料) 農林水産省「市区村別農業産出額（推計）」



(資料) 農林水産省「農林業センサス」

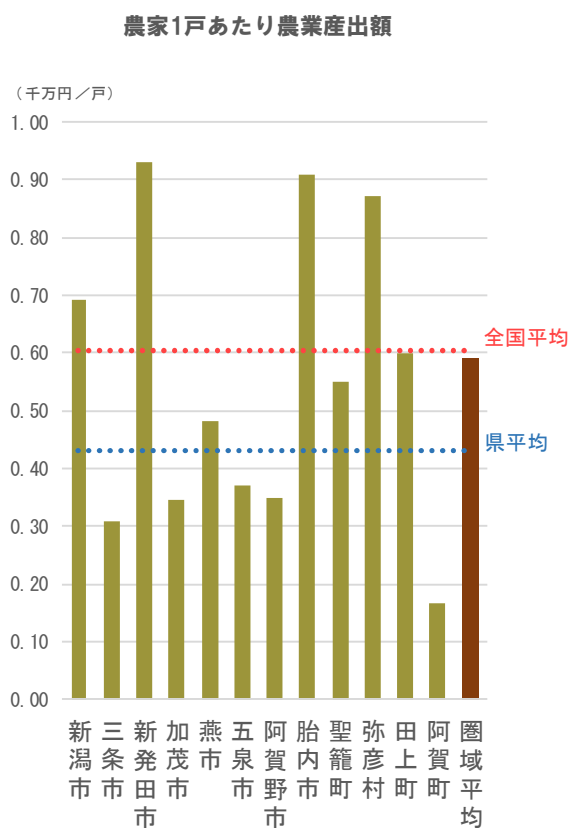
市町村別では新潟市・新発田市・胎内市で農業産出額全体の7割以上を占めており、農家1戸当たりの水準でも弥彦村を含めて全国平均を上回っている。

□市町村別 農業産出額・販売農家数

市町村	農業産出額		販売農家数	
	千万円	(構成比)	戸	(構成比)
新潟市	5,721	(44.4%)	8,249	(37.9%)
三条市	752	(5.8%)	2,426	(11.1%)
新発田市	2,349	(18.2%)	2,521	(11.6%)
加茂市	245	(1.9%)	708	(3.3%)
燕市	662	(5.1%)	1,376	(6.3%)
五泉市	697	(5.4%)	1,882	(8.6%)
阿賀野市	738	(5.7%)	2,121	(9.7%)
胎内市	1,137	(8.8%)	1,249	(5.7%)
聖籠町	203	(1.6%)	370	(1.7%)
弥彦村	164	(1.3%)	188	(0.9%)
田上町	130	(1.0%)	217	(1.0%)
阿賀町	77	(0.6%)	465	(2.1%)
圏域合計	12,875	(100.0%)	21,772	(100.0%)

(資料)「平成27年 市区村別農業産出額(推計)」

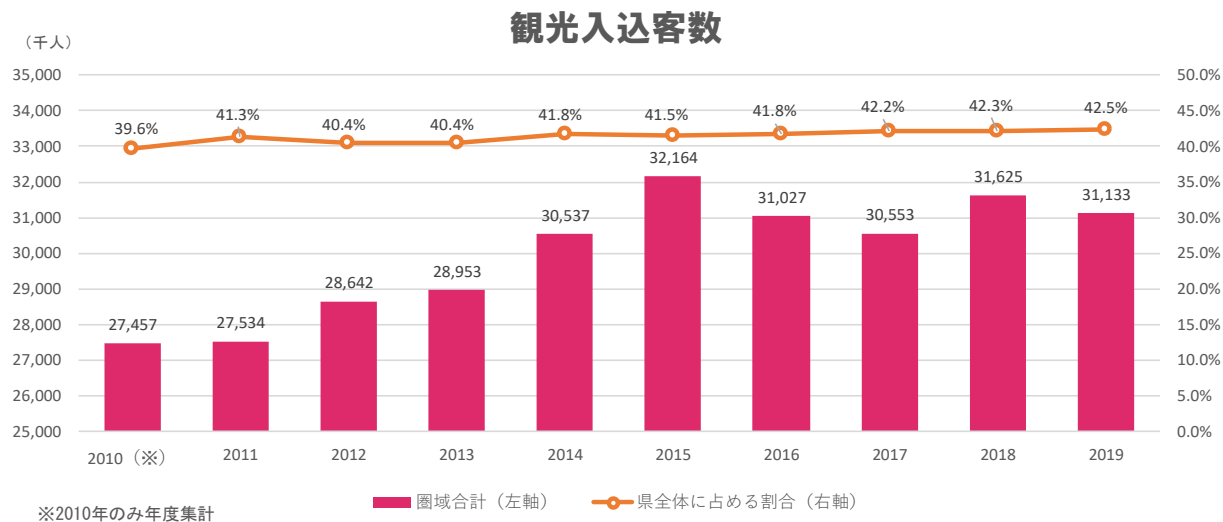
農林水産省「平成27年 農林業センサス」



イ 観光

a 観光入込客数の推移

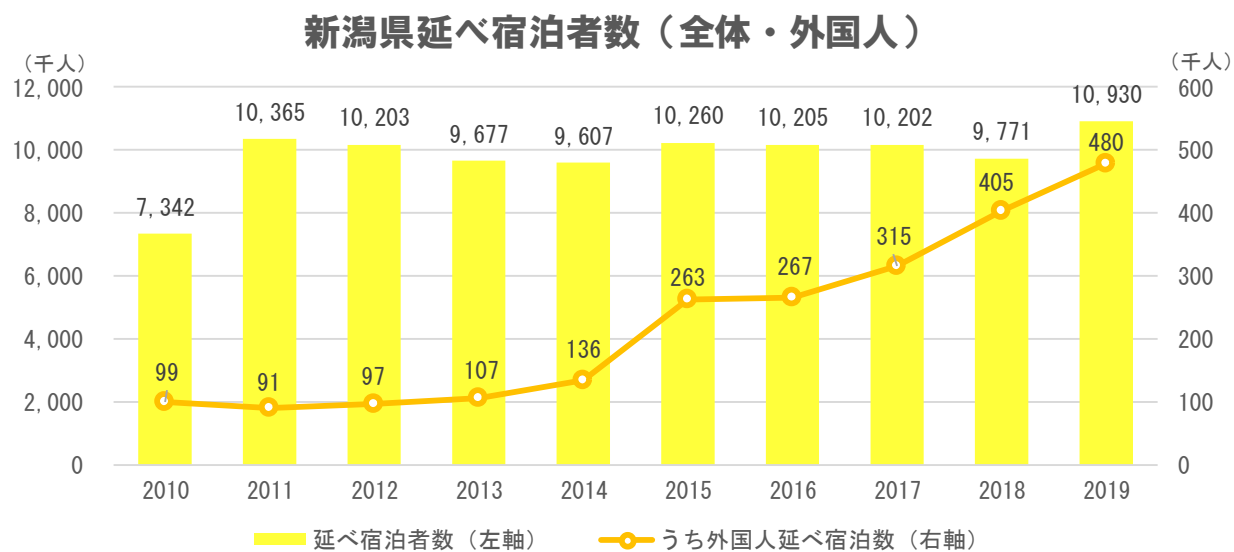
観光入込客数は概ね増加の傾向だが、新潟県全体に占める割合は約4割で推移している。



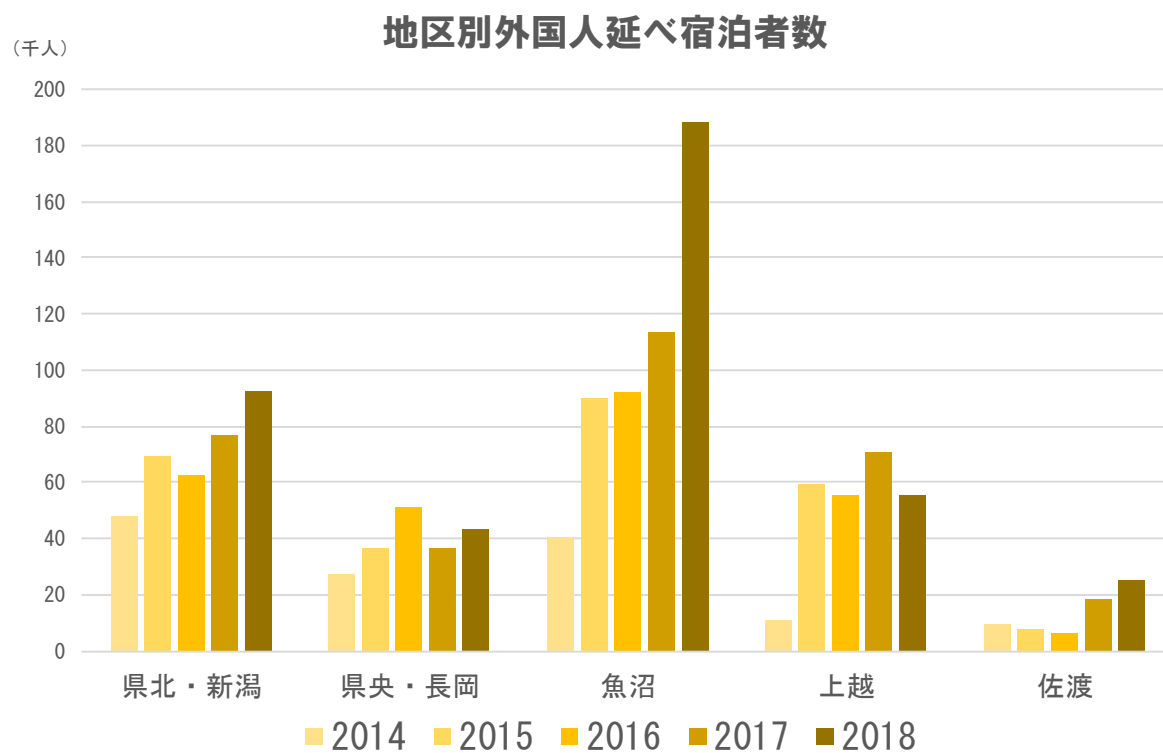
(資料) 新潟県「新潟県観光入込客統計」

b 【参考】県全体の宿泊者数の推移

新潟県全体では延べ宿泊者数はおおよそ横ばいで推移する中で、外国人の延べ宿泊者数は増加傾向にある。しかし地区別で見ると、県北や県央地域など圏域を含む地域も増加しているものの、魚沼地区や上越地区での増加による影響が大きい。



(資料) 観光庁「宿泊旅行統計調査」



(資料) 新潟県「外国人宿泊者数の県内地区別推計」

3. 圏域の将来像

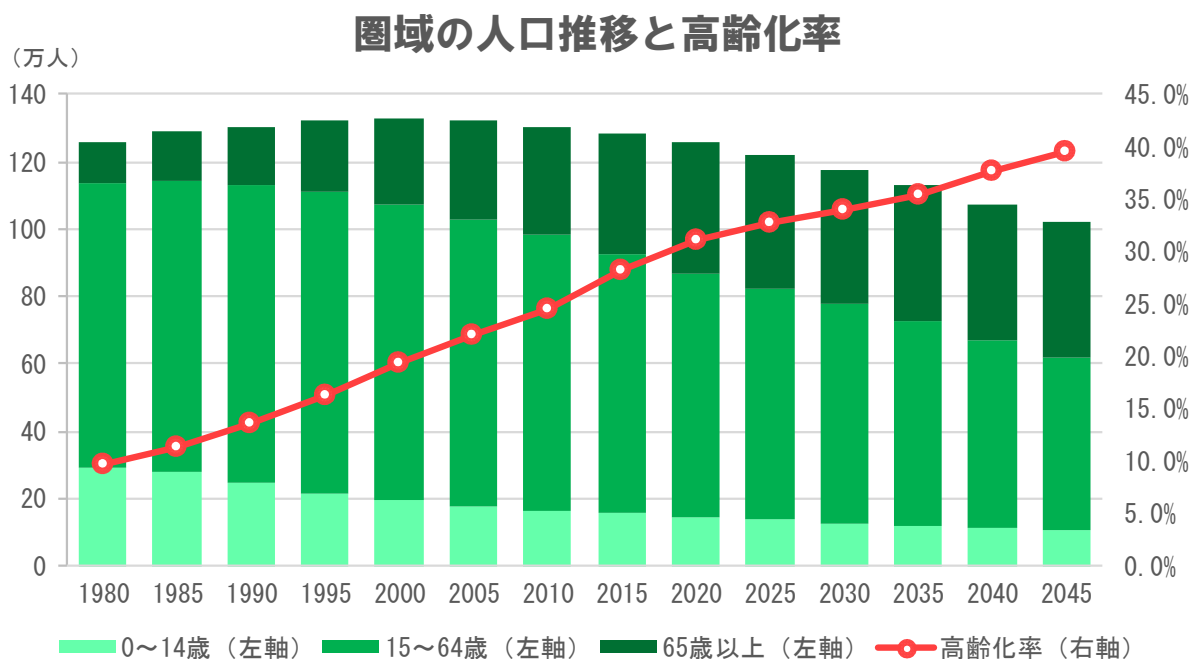
(1) 目指すべき将来像

新潟広域都市圏は、奈良時代以降の越後国蒲原郡の区域にほぼ該当しており、信濃川・阿賀野川流域の越後平野（蒲原平野）には穀倉地帯が広がり、その河口部近辺には港町が形成されて繁栄してきました。

当該圏域では、平成 17 年（2005 年）には人口が 132 万人にまで増加したものの、全国的な少子・高齢化の傾向に伴って平成 27 年（2015 年）には 129 万人にまで減少し、さらに、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、令和 22 年（2040 年）に 107 万人にまで減少することが見込まれています。

このような人口減少・少子高齢社会にあっても、圏域内の市町村が行政区域の垣根を越えた「連携中枢都市圏」を形成し、産業界、大学、金融機関等との連携の下、①圏域全体の経済成長のけん引、②高次の都市機能の集積・強化及び③圏域全体の生活関連機能サービスの向上に積極的に取り組むことで、対岸諸国と首都圏とを結ぶ本州日本海側の拠点地域として圏域全体の経済を活性化し、それぞれの市町村の都市機能や自然環境等の魅力を高め、人々が誇りを持って住み続けたいと思えるような圏域を創造していきます。

(2) 現在人口及び将来推計人口



(資料) 総務省「平成 27 年国勢調査」、

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 30 年推計）」

（３）将来の目標人口

圏域内の各市町村の地方版総合戦略*の基礎資料である「地方人口ビジョン*」における将来推計人口を踏まえ、新潟広域都市圏の中長期的な目標人口を次のとおり設定します。

将来の目標人口 110 万人（令和 22 年）

参考：国立社会保障・人口問題研究所による推計人口 107 万人（令和 22 年）

* 地方版総合戦略・・・まち・ひと・しごと創生法（平成 26 年 11 月 28 日法律第 136 号）に基づき地方公共団体の実情に応じたまち・ひと・しごと創生に関する施策について作成する基本的な計画。

* 地方人口ビジョン・・・日本の人口の現状と将来展望を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」（長期ビジョン）を勘案して、地方公共団体における人口の現状と将来の展望を提示するもの。

4. 将来像の実現に向けた取組

(1) 取組の方向性

3. で示した「圏域の将来像」の実現に向け、①圏域全体の経済成長のけん引、②高次の都市機能の集積・強化及び③圏域全体の生活関連機能サービスの向上のそれぞれの役割に関して、次に掲げる取組を展開していくこととします。

都市圏の役割	取組	方向性
圏域全体の経済成長のけん引	産学金官民が一体となった経済成長の推進	産学金官民一体となった懇談会を設置して新潟広域都市圏ビジョンの進捗管理を行うとともに、今後の圏域の在り方の検討に取り組む。
	創業促進や地域企業等の成長促進	創業への支援、地域企業等による新規事業展開や販路拡大の支援などに取り組む。
	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	地域資源を活用した商品・サービスの開発や販路開拓の推進に取り組む。
	戦略的な観光施策	観光客の受入環境の整備を図りながら、圏域内の観光資源を活用し、コンベンション等（MICE*）も含めた交流人口の拡大に取り組む。
	その他、圏域全体の経済成長のけん引に係る施策	国内外に対する効果的な情報発信等により、経済成長のけん引に取り組む。
高次の都市機能の集積・強化	高度な医療サービスの提供	救急医療提供体制の充実を図り、高度な医療サービスの提供に取り組む。
	高度な中心拠点や圏域内外へのアクセス拠点の整備	高度な中心拠点や交通アクセス拠点の整備、利用促進等に取り組む。
	高等教育・研究開発の環境整備	高度専門的な研究開発機関の環境整備や研究成果の活用等に取り組む。

* MICE・・・多くの集客交流が見込まれるイベントなどの総称。Meeting（会議、セミナー）、Incentive Travel（企業報奨・研修旅行）、Convention（各種団体、学会、協会が主催する総会、学術会議など）、Exhibition/Event（文化・スポーツイベント、展示会、見本市）の頭文字をとったもの。

都市圏の役割	取組	方向性
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	地域医療	在宅医療等も含めた地域医療サービスの充実に取り組む。
	福祉	少子高齢社会に対応した福祉サービスの充実に取り組む。
	教育・文化・スポーツ	公共施設の相互利用等による教育・文化・スポーツの振興に取り組む。
	土地利用	コンパクトシティ*をはじめとした、圏域全体の土地利用の在り方の検討に取り組む。
	地域振興	地域の観光資源の開発や商店街の活性化等に取り組む。
	災害対策	災害時の連携体制の構築や防災・減災施策の推進に取り組む。
	環境	自然環境の保全や循環型社会の構築に取り組む。
	地域公共交通	地域公共交通ネットワークの確保や利便性向上に取り組む。
	ＩＣＴ*インフラ整備	ＩＣＴ環境の整備や各分野での活用に取り組む。
	道路等の交通インフラの整備・維持	道路の老朽化対策やネットワーク機能の向上に取り組む。
	地域の生産者や消費者等の連携による地産地消	食の安全・安心の確保や地産地消の推進に取り組む。
	地域内外の住民との交流・移住促進	圏域の魅力の効果的な発信等により、東京圏等からの移住・定住の促進に取り組む。
	人材の育成	圏域内市町村の職員等の能力向上を図るため、研修の共同実施等に取り組む。
	圏域内市町村の職員等の交流	圏域内市町村の職員同士の連携強化等を図るため、人事交流の推進に取り組む。

※ 具体的な連携事業については別冊に掲載

* コンパクトシティ・・・高密度で近接した開発形態、公共交通機関でつながった市街地、地域のサービスや職場までの移動の容易さ、という特徴を有した都市構造のこと。

* ＩＣＴ・・・・・・・・Information and Communication Technology の頭文字をとったもの。情報通信技術。

（２）取組期間

（１）に掲げる取組の第２期の対象期間は令和３年度から令和６年度までの４年間とします。

（３）成果指標（基本目標）

３．で示した「圏域の将来像」の実現に向け、①圏域全体の経済成長のけん引、②高次の都市機能の集積・強化及び③圏域全体の生活関連機能サービスの向上のそれぞれの役割に関して、次に掲げるとおり成果指標（基本目標）を設定することとします。

	成果指標	現状値	目標値 (令和６年度)	備考
圏域全体の 経済成長の けん引	観光入込客数	3,113万2,825人 (令和元年)	※	観光入込客統計 (新潟県)
	従業者数	575,700人 (平成28年)	※	経済センサス (総務省)
高次の都市 機能の集 積・強化	新潟駅一日平均 乗車人員数	36,398人 (令和元年度)	36,400人	各駅の乗車人員 (JR東日本)
圏域全体の 生活関連機 能サービスの 向上	人口社会動態	△2,032人 (令和元年)	△1,100人	人口移動調査結果 報告(新潟県)

※ 未記載の数値については、コロナ禍の影響が明確になる時点まで数値設定を留保する。

（４）進捗管理

（１）に掲げる取組の進捗状況や（３）に掲げた成果指標の推移等について、毎年度、新潟広域都市圏ビジョン懇談会*において進捗管理を行うとともに、必要に応じて、取組内容を見直していくこととします。

* 新潟広域都市圏ビジョン懇談会・・・新潟広域都市圏ビジョン（連携中枢都市圏ビジョン）の策定・変更等に関して幅広い意見を聴取するためのもの。

参考資料 圏域の各種情報

(1) 都市機能の集積状況

ア 医療機関

□圏域の救急医療体制（平成31年1月現在）

二次 保健 医療圏	市町村	初期救急医療機関		休日・夜間急患センター	第二次救急医療機関	第三次救急医療機関
		病院	診療所			
下越	新発田市		5施設	新発田地区救急診療所	新潟県立新発田病院	<高度救命救急センター> 新潟大学医歯学総合病院高度救命救急センター <救命救急センター> 新潟県立新発田病院救命救急センター
	胎内市		1施設	中条地区休日診療所	中条中央病院	
	聖籠町				新潟手の外科研究所病院	
新潟	新潟市	13施設	27施設	新潟市急患診療センター、 西蒲原地区休日夜間急患診療所	豊栄病院、 新潟リハビリテーション病院、 桑名病院、木戸病院、 新潟臨港病院、新潟南病院、 新潟県立がんセンター新潟病院、 新潟市民病院、 新潟大学医歯学総合病院、 新潟中央病院、新潟万代病院、 日本歯科大学医科病院、 猫山宮尾病院、亀田第一病院、 下越病院、 新津医療センター病院、 新潟白根総合病院、 済生会新潟第二病院、 信楽園病院、 国立病院機構西新潟中央病院、 新潟医療センター、 新潟脳外科病院、	<高度救命救急センター> 新潟大学医歯学総合病院高度救命救急センター※再掲 <救命救急センター> 新潟市民病院救命救急センター
	五泉市	1施設	1施設	五泉市東蒲原郡医師会夜間診療所（五泉市・阿賀町）	北日本脳神経外科病院、 南部郷総合病院、	
	阿賀野市		2施設		あがの市民病院（第二次救急医療の機能を有する医療機関）	
	阿賀町			五泉市東蒲原郡医師会夜間診療所（五泉市・阿賀町）※再掲	新潟県立津川病院	
県央	三条市		6施設	県央医師会応急診療所	三条総合病院、三之町病院、 富永草野病院、 済生会三条病院	
	加茂市		1施設		新潟県立加茂病院	
	燕市	1施設	5施設		新潟県立燕労災病院、 新潟県立吉田病院	
	弥彦村					
	田上町		1施設			

※圏域外に所在する医療機関を除く

（資料）

新潟県「第7次新潟県地域保健医療計画」

□圏域の拠点病院等の状況（平成 31 年 1 月現在）

市町村	病院名	がん診療連携 拠点病院 (※1)	災害拠点病院 (※2)	へき地医療 拠点病院	周産期母子 医療センター (※3)	初期小児救急
新発田市	新潟県立新発田病院	○	○		○	
	竹内病院			○		
新潟市	国立病院機構西新潟中央 病院	△				
	新潟大学医歯学総合病院	○	◎		◎	○
	新潟県立がんセンター新 潟病院	◎				
	新潟市民病院	○	○		◎	○
	済生会新潟第二病院	△	○		○	○
	新潟南病院					○
	新潟医療センター	▲				○
	下越病院		○			
	木戸病院					○
阿賀町	新潟県立津川病院			○		
三条市	済生会三条病院		○			

※1 ◎は県がん診療連携拠点病院、○は地域がん診療連携拠点病院、△はがん診療連携拠点病院に準じる病院、▲は専門的ながん診療機能を有する医療機関

※2 ◎は基幹災害拠点病院、○は地域災害拠点病院

※3 ◎は総合周産期母子医療センター、○は地域周産期母子医療センター
(資料)

・新潟県「第 7 次新潟県地域保健医療計画」

イ 高等教育機関（令和２年４月現在）

	主な高等教育機関
大学	〔新潟市〕新潟大学、新潟県立大学、 日本歯科大学新潟生命歯学部、新潟薬科大学、 新潟国際情報大学、新潟青陵大学、新潟医療福祉大学、 新潟食料農業大学 ----- 〔新発田市〕敬和学園大学 〔加茂市〕新潟経営大学
短期大学	〔新潟市〕新潟青陵大学短期大学部、新潟工業短期大学、 日本歯科大学新潟短期大学、明倫短期大学 ----- 〔加茂市〕新潟中央短期大学
大学院大学	〔新潟市〕事業創造大学院大学
高等教育機関連携組織	〔新潟市〕高等教育コンソーシアムにいがた
専門職大学	〔新潟市〕開志専門職大学
専修学校（専門課程を設置するもの）	〔新潟市〕新潟医療技術専門学校、新潟看護医療専門学校、 国際トータルファッション専門学校、 国際外語・観光・エアライン専門学校、新潟工科専門学校、 国際こども・福祉カレッジ、アップルスポートカレッジ、 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校、 国際ペットワールド専門学校、国際メディカル専門学校、 専門学校 新潟国際自動車大学校、 国際ホテル・ブライダル専門学校、国際調理製菓専門学校、 国際映像メディア専門学校、新潟農業・バイオ専門学校、 新潟コンピュータ専門学校、新潟ビジネス専門学校、 新潟会計ビジネス専門学校、新潟デザイン専門学校、 新潟公務員法律専門学校、日本アニメ・マンガ専門学校、 国際ビューティモード専門学校、新潟法律大学校、 三条看護・医療・歯科衛生専門学校、新潟調理師専門学校、 新潟理容美容専門学校、にいがた食育・保育専門学校えぷろん、 新潟情報専門学校、新潟医療福祉カレッジ、 シェフパティシエ専門学校、新潟こども保育カレッジ、 新潟日建工科専門学校、 日本こども福祉専門学校、看護リハビリ新潟保健医療専門学校、 日本自然環境専門学校、大原簿記公務員専門学校新潟校、 大原医療秘書専門学校新潟校、新潟こども医療専門学校、 新潟高度情報専門学校、フォーラム情報アカデミー専門学校、 新潟美容専門学校ジャパン・ビューティ・アカデミー、 新潟柔整専門学校、ひまわり幼児教育専門学院、 新潟県農業大学校 ----- 〔新発田市〕新潟県立新発田病院付属看護専門学校、 新発田北蒲原准看護学院 〔燕市〕新潟県立吉田病院付属看護専門学校 〔聖籠町〕JAPAN サッカーカレッジ

（資料）

- ・新潟県ウェブサイト「新潟県内の高等教育機関（大学・短期大学・高等専門学校）」
- ・新潟県ウェブサイト「私立専修学校・各種学校の一覧」
- ・文部科学省ウェブサイト「専修学校・各種学校一覧」 他

・各大学学生数（令和2年5月1日現在）

大学名	学部	学生数	大学院	学生数
新潟大学	人文学部	978	教育実践学研究科	43
	教育学部	911	現代社会文化研究科	249
	法学部	794	自然科学研究科	1,149
	経済学部	1,043	保健学研究科	92
	経済科学部	352	医歯学総合研究科	491
	理学部	906	教育学研究科	3
	医学部	1,466		
	歯学部	349		
	工学部	2,337		
	農学部	761		
	創生学部	275		
	小計	10,172	小計	2,027
新潟県立大学	国際地域学部	774	国際地域学研究科	未公表
	人間生活学部	335		
	国際経済学部	103		
	小計	1,212	小計	未公表
新潟薬科大学	薬学部	832	薬学研究科	8
	応用生命科学部	544	応用生命科学研究科	17
	小計	1,376	小計	25
日本歯科大学	新潟生命歯学部	未公表	新潟生命歯学研究科	未公表
新潟国際情報大学	国際学部	508		
	経営情報学部	564		
	情報文化学部	224		
	小計	1,296		
新潟青陵大学	看護学部	368	看護学研究科	14
	福祉心理学部	595	臨床心理学研究科	20
	小計	963	小計	34
新潟医療福祉大学	リハビリテーション学部	787	修士課程	98
	医療技術学部	1,325	博士後期課程	52
	健康科学部	1,124		
	看護学部	320		
	社会福祉学部	515		
	医療経営管理学部	356		
	小計	4,427	小計	150
敬和学園大学	人文学部	736		
新潟経営大学	経営情報学部	594		
	観光経営学部	89		
	小計	683		
新潟食料農業大学	食料産業学部	392		
大学合計		21,257		2,236

（資料）

・各大学ウェブサイト

・各短期大学学生数（令和２年５月１日現在）

短期大学名	学科	学生数	専攻科	学生数
新潟青陵大学 短期大学部	人間総合学科	429		
	幼児教育学科	265		
	小計	694		
新潟工業短期 大学	自動車工業科	244	自動車工学専攻	2
日本歯科大学 新潟短期大学	歯科衛生学科	未公表	歯科衛生学専攻	未公表
			がん関連口腔ケア学 専攻・在宅歯科医療学 専攻	未公表
	小計	未公表	小計	未公表
明倫短期大学 ※	歯科技工士学科	36	生体技工専攻	13
	歯科衛生士学科	120	口腔保健衛生学専攻	4
	小計	156	小計	17
新潟中央短期 大学	幼児教育科	159		
短期大学合計		1,253		19

※明倫短期大学は令和元年５月１日現在
(資料)

・各短期大学ウェブサイト

・大学院大学学生数（令和元年５月１日現在）

大学院大学名	学科	学生数
事業創造 大学院大学	事業創造研究科	170

(資料)

・事業創造大学院大学ウェブサイト

ウ 経済団体（主なもの）

	経済団体名
経済同友会	〔新潟市〕新潟経済同友会
商工会議所	〔新潟市〕新潟商工会議所、亀田商工会議所、新津商工会議所 〔三条市〕三条商工会議所 〔新発田市〕新発田商工会議所 〔加茂市〕加茂商工会議所 〔燕市〕燕商工会議所 〔五泉市〕五泉商工会議所
商工会	〔新潟市〕新潟西商工会、赤塚商工会、酒屋町商工会、 豊栄商工会、白根商工会、小須戸商工会、横越商工会、 岩室商工会、巻商工会、西川商工会、黒埼商工会、味方商工会、 潟東商工会、月潟商工会、中之口商工会 〔三条市〕下田商工会、栄商工会 〔新発田市〕豊浦商工会、加治川商工会、紫雲寺商工会 〔燕市〕吉田商工会、分水商工会 〔五泉市〕村松商工会 〔阿賀野市〕安田商工会、京ヶ瀬商工会、水原商工会、 笹神商工会 〔胎内市〕中条町商工会、黒川商工会 〔聖籠町〕聖籠町商工会 〔弥彦村〕弥彦村商工会 〔田上町〕田上町商工会 〔阿賀町〕津川商工会、鹿瀬商工会、上川商工会、三川商工会

（資料）

- ・一般社団法人新潟県商工会議所連合会ウェブサイト
- ・新潟県商工会連合会ウェブサイト

エ 金融機関（令和２年３月現在）

	主な金融機関
地方銀行（圏域内に本店を構えるもの）	〔新潟市〕第四銀行
信用金庫・信用組合（圏域内に本店を構えるもの）	〔新潟市〕新潟信用金庫、新潟県信用組合、新潟鉄道信用組合、 興栄信用組合、はばたき信用組合、巻信用組合 〔三条市〕三条信用金庫、三條信用組合 〔新発田市〕新発田信用金庫 〔加茂市〕加茂信用金庫 〔燕市〕協栄信用組合、新潟大栄信用組合
中央銀行	〔新潟市〕日本銀行新潟支店

（資料）

- ・金融庁「都道府県別の中小・地域金融機関一覧表」
- ・日本銀行ウェブサイト

オ 商業施設（令和２年９月現在）

	主な商業施設（五十音順）
大規模小売店舗（10,000 m ² 以上）	〔新潟市〕 アークプラザ新潟、アピタ新潟亀田店、アピタ新潟西店、イオン新潟青山ショッピングセンター、イオン新潟西ショッピングセンター、イオンモール新潟南、ケーズタウン女池、河渡ショッピングセンター、コメリパワー新潟店、コモタウン新潟、ジャスコシティ新潟東、白根ショッピングセンター、SUPER CENTER PLANT-5 横越店、DeKKY401、東京インテリア家具新潟店、原信マーケットシティ河渡、万代シティ 新潟伊勢丹ビル、万代シティ ビルボードプレイス（BP）、プラーカ新潟１・２、ベイスシア豊栄店、株式会社丸大新潟店、LoveLa（ラブラ）万代 〔三条市〕 ホームセンタームサシ 三条店 2 号館 〔新発田市〕 イオンモール新発田、コメリパワー新発田店、新発田舟入ショッピングセンター 〔燕市〕 イオン県央ショッピングセンター 〔聖籠町〕 SUPER CENTER PLANT-4 聖籠店

（資料）

・新潟県「県内の大規模小売店舗一覧」

カ 工業団地

	主な工業団地
工業団地	〔新潟市〕 40 団地 〔三条市〕 14 団地 〔燕市〕 18 団地 〔新発田市〕 8 団地 〔加茂市〕 1 団地 〔五泉市〕 1 団地 〔阿賀野市〕 11 団地 〔胎内市〕 3 団地 〔聖籠町〕 1 団地 〔弥彦村〕 2 団地 〔田上町〕 3 団地 〔阿賀町〕 2 団地

（資料）

・各市町村ウェブサイト

キ 農業団体

	主な農業団体
農業協同組合	〔新潟市〕 新潟県農業協同組合中央会、新潟県信用農業協同組合連合会、新潟県厚生農業協同組合連合会、全国農業協同組合連合会新潟県本部、新潟県酪農業協同組合連合会、新潟市農業協同組合、新潟みらい農業協同組合、新潟さつき農業協同組合、越後中央農業協同組合、酪農にいがた農業協同組合 〔三条市〕 にいがた南蒲農業協同組合 〔新発田市〕 北越後農業協同組合 〔阿賀野市〕 北蒲みなみ農業協同組合、ささかみ農業協同組合 〔五泉市〕 新潟県花卉球根農業協同組合 〔胎内市〕 胎内市農業協同組合

（資料）

・JA グループウェブサイト

ク 観光・コンベンション施設

	主な観光・コンベンション施設
主な観光地点(年間入込数 50,000人以上、行祭事・イ ベント除く)	〔新潟市〕水の公園福島潟、角田山、佐潟水鳥・湿地センター、白山神社、護国神社、天寿園、新潟市水族館(マリニピア日本海)、県立自然科学館、新潟市歴史博物館(みなとぴあ)、新潟県立万代島美術館、新潟市美術館、県立植物園、新津美術館、新津鉄道資料館、弥生の丘展示館、動物ふれあいセンター、新潟市マンガ・アニメ情報館、多宝温泉、岩室温泉、じょんのび館、秋葉温泉「花水」、小須戸温泉健康センター花の湯館、関屋浜、角田浜、Befco ばかうけ展望室、アイスアリーナ、こども創造センター、食と花の交流センター、新潟ふるさと村、花夢里にいつ、新津フラワーランド、花とみどりのシンボルゾーン、岩室観光施設いわむろや、ピア Bandai、食育・花育センター、J A 越後中央 越王の里、アグリパーク 〔三条市〕八木ヶ鼻温泉いい湯らてい、道の駅「燕三条地場産センター」、道の駅「漢学の里しただ」、燕三条 Wing、道の駅「庭園の郷 保内」、ステージえんがわ、三条防災ステーション 〔新発田市〕新発田城、月岡温泉、月岡温泉足湯、紫雲の郷、百花の里城山温泉、新発田あやめの湯、道の駅ふれあいセンター桜館、藤塚浜海水浴場、県立公園スポーツ施設、新発田市カルチャーセンター 〔加茂市〕市民福祉交流センター加茂美人の湯、加茂山公園 〔燕市〕国上寺・五合庵、てまりの湯、ふれあいパーク久賀美、ストックバスターズ 燕店 〔五泉市〕村松さくらんど温泉 〔阿賀野市〕五頭連峰、瓢湖水きん公園、安田温泉保養センター・ホテルやすらぎ、村杉温泉、宝珠温泉、サントピアワールド、五頭山麓うららの森 〔胎内市〕はまなすの丘展望台、ロイヤル胎内パークホテル、胎内スキー場、日本海カントリークラブ、観光交流センター(道の駅胎内) 〔聖籠町〕観光ぶどう園 〔弥彦村〕弥彦山ロープウェイ、弥彦山登山、彌彦神社、弥彦温泉、さくらの湯、弥彦公園、おもてなし広場 〔田上町〕護摩堂山、湯田上温泉、ごまどう湯つ多里館 〔阿賀町〕阿賀野川ライン、御神楽温泉、三川温泉、かのせ温泉
コンベンション施設(ホー ル収容人数 1,000人以上)	〔新潟市〕朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)、新潟市産業振興センター、新潟市体育館、新潟市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)、新潟県民会館、新潟テルサ(新潟勤労者総合福祉センター) ANA クラウンプラザホテル新潟、新潟グランドホテル ホテルイタリヤ軒 〔三条市〕燕三条地場産業振興センター 〔新発田市〕ホテル華鳳 〔加茂市〕加茂文化会館 〔五泉市〕五泉市さくらんど会館

(資料)

- ・新潟県「平成 31/令和元年新潟県観光入込客統計」
- ・(公財)新潟観光コンベンション協会「コンベンション施設一覧」
- ・新潟県ウェブサイト「新潟県の文化ホール」
- ・各施設ウェブサイト

・市町村別観光入込客数 （単位：人）

市町村名	人数
新潟市	18,648,265
三条市	2,190,179
新発田市	2,468,922
加茂市	518,554
燕市	960,907
五泉市	415,788
阿賀野市	1,164,337
胎内市	737,580
聖籠町	180,483
弥彦村	2,610,380
田上町	396,227
阿賀町	841,203
圏域 計	31,132,825
新潟県	73,303,449

（資料）

・新潟県「平成 31/令和元年新潟県観光入込客統計」

・主要観光地点入込数（圏域内上位 20 件） （単位：人）

順位	市町村名	観光地点名	人数
1	新潟市	新潟ふるさと村	1,704,500
2	弥彦村	彌彦神社	1,267,760
3	新潟市	ピアBandai	932,903
4	新潟市	白山神社(初詣を除く)	702,000
5	新潟市	食と花の交流センター	678,734
6	新潟市	花夢里にいつ	584,421
7	新潟市	新潟市水族館（マリンピア日本海）	523,308
8	新発田市	月岡温泉	506,746
9	新潟市	食育・花育センター	390,472
10	阿賀町	阿賀野川ライン	380,906
11	弥彦村	弥彦山ロープウェイ	376,590
12	新潟市	動物ふれあいセンター	367,934
13	弥彦村	弥彦公園	367,450
14	阿賀野市	瓢湖水きん公園	350,108
15	新潟市	花とみどりのシンボルゾーン	348,658
16	加茂市	加茂山公園	303,801
17	新潟市	水の公園福島潟	297,200
18	三条市	道の駅「燕三条地場産センター」	279,424
19	燕市	ストックバスターズ 燕店	262,962
20	新潟市	こども創造センター	262,565

※行祭事・イベント除く

（資料）

・新潟県「平成 31/令和元年新潟県観光入込客統計」

ケ 文化・スポーツ施設

	主な文化・スポーツ施設					
美術館・博物館 (博物館法上の登録博物館 及び博物館相当施設)	〔新潟市〕北方文化博物館、新潟市北区郷土博物館、敦井美術館、 日本歯科大学新潟生命歯学部 医の博物館、新津記念館、 雪梁舎美術館、新潟市美術館、新潟市會津八一記念館、 新潟県立万代島美術館、新潟市歴史博物館、新潟市新津美術館、 知足美術館 〔燕市〕燕市産業史料館					
図書館	〔新潟市〕新潟県立図書館、新潟市立中央図書館、 新潟市立豊栄図書館、新潟市立松浜図書館、 新潟市立山の下図書館、新潟市立石山図書館、 新潟市立舟江図書館、新潟市立鳥屋野図書館、 新潟市生涯学習センター図書館、新潟市立亀田図書館、 新潟市立新津図書館、新潟市立白根図書館、 新潟市立月潟図書館、新潟市立坂井輪図書館、 新潟市立内野図書館、新潟市立黒埼図書館、 新潟市立西川図書館、新潟市立岩室図書館、 新潟市立潟東図書館、新潟市立巻図書館 〔三条市〕三条市立図書館 〔新発田市〕新発田市立中央図書館、新発田市立歴史図書館 〔加茂市〕加茂市立図書館 〔燕市〕燕市立図書館、燕市立吉田図書館、燕市立分水図書館 〔五泉市〕五泉市立図書館 〔阿賀野市〕阿賀野市立図書館 〔胎内市〕胎内市立図書館 〔聖籠町〕聖籠町立図書館					
公共スポーツ施設	【市町村公共スポーツ施設】 (単位：施設)					
		陸上 競技場	野球場	多目的 運動広場	水泳プール (屋内・外)	体育館
	新潟市	2	31	19	11	22
	三条市	1	9	3	2	10
	新発田市	1	3	9	1	9
	加茂市	1	2	1	2	4
	燕市	1	8	2	3	10
	五泉市	1	3	1	2	6
	阿賀野市	0	4	1	1	9
	胎内市	1	3	11	2	13
	聖籠町	0	2	1	1	2
	弥彦村	1	1	1	0	2
	田上町	0	1	1	0	1
	阿賀町	0	2	5	3	5

(資料)

- ・新潟県教育委員会「生涯学習・社会教育の現状（令和２年８月）」
- ・新潟県広域スポーツセンター「新潟県スポーツの現状（令和２年５月）」

・ 図書館蔵書数及び貸出数（平成 30 年度末現在）

館名	蔵書総数 (冊)	年間貸出者数 (人)	年間利用冊数 (個人貸出)(冊)
新潟県立図書館	899,308	173,331	468,428
新潟市立図書館(19館合計)	1,861,271	1,129,345	3,515,432
三条市立図書館(分館含む)	344,864	114,341	403,679
新発田市立図書館(分館含む)	303,739	106,069	283,052
加茂市立図書館	144,014	26,061	73,971
燕市立図書館(3館合計)	254,752	66,884	249,604
五泉市立図書館(分館含む)	209,281	49,875	170,735
阿賀野市立図書館(分館含む)	112,444	15,775	49,230
胎内市図書館	85,929	19,123	61,924
聖籠町立図書館	149,471	31,610	105,534

(資料)

・ 新潟県「第 130 回 新潟県統計年鑑 2019」

コ 行政機関等

	主な行政機関等
国	【法務省】 〔新潟市〕新潟地方法務局
	【財務省】 〔新潟市〕関東財務局新潟財務事務所、東京税関新潟税関支署
	【財務省（国税庁）】 〔新潟市〕新潟税務署、新津税務署、巻税務署、 関東信越国税不服審判所新潟支所 ----- 〔三条市〕三条税務署 〔新発田市〕新発田税務署
	【厚生労働省】 〔新潟市〕新潟労働局、新潟労働基準監督署、新津労働基準監督署、 新潟公共職業安定所、ハローワーク新潟ときめき仕事館・若者しごと館、 新潟新卒応援ハローワーク、新津公共職業安定所、巻公共職業安定所、 新潟労働局総合労働相談コーナー、 新潟検疫所、新潟検疫所新潟空港出張所 ----- 〔三条市〕三条労働基準監督署、三条公共職業安定所 〔新発田市〕新発田労働基準監督署、新発田公共職業安定所、 北陸職業能力開発大学校附属新潟職業能力開発短期大学校
	【農林水産省】 〔新潟市〕北陸農政局新潟県拠点、水産研究・教育機構日本海区水産研究所
	【経済産業省】 〔三条市〕中小企業大学校三条校
	【国土交通省】 〔新潟市〕北陸地方整備局、北陸信越運輸局、東京航空局新潟空港事務所
	【国土交通省（気象庁）】 〔新潟市〕東京管区気象台新潟地方気象台
	【国土交通省（海上保安庁）】 〔新潟市〕第九管区海上保安本部、第九管区海上保安本部新潟海上保安部、 第九管区海上保安本部新潟航空基地

	【裁判所】 〔新潟市〕新潟地方裁判所
県	〔新潟市〕新潟県庁、新潟地域振興局、保健環境科学研究所、 工業技術総合研究所、工業技術総合研究所下越技術支援センター、 醸造試験場、新潟テクノスクール、水産海洋研究所 〔三条市〕三条地域振興局、工業技術総合研究所県央技術支援センター、 三条テクノスクール、農業総合研究所畜産研究センター 〔新発田市〕新発田地域振興局 〔加茂市〕農業総合研究所食品研究センター 〔聖籠町〕農業総合研究所園芸研究センター
領事館	〔新潟市〕駐新潟大韓民国総領事館、在新潟ロシア連邦総領事館、 中華人民共和国駐新潟総領事館、在新潟フランス名誉領事館、 在新潟モンゴル国名誉領事館

(資料)

- ・総務省ウェブサイト「行政機関等一覧」
- ・裁判所ウェブサイト「新潟地方裁判所・新潟家庭裁判所・新潟県内の簡易裁判所」
- ・新潟県行政組織規則
- ・外務省ウェブサイト「駐日外国公館リスト」

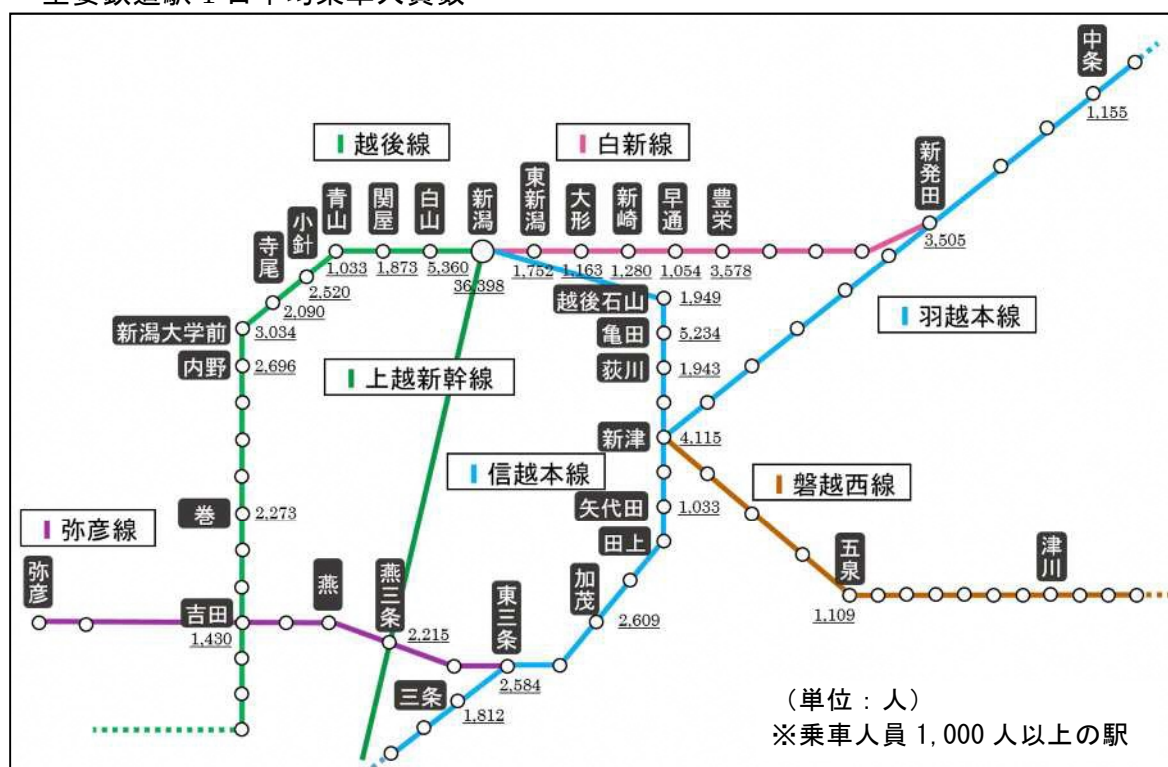
サ 交通ネットワーク

	主な交通ネットワーク
高速道路	〔新潟市〕 北陸自動車道（新潟西 IC、黒埼 PA(スマート IC)、巻潟東 IC） 磐越自動車道（新潟中央 IC、新津西スマート IC、新津 IC） 日本海東北自動車道（新潟亀田 IC、新潟東スマート IC、 新潟空港 IC、豊栄 SA(スマート IC)、 豊栄新潟東港 IC） 〔三条市〕北陸自動車道（三条燕 IC、栄 PA(スマート IC)） 〔阿賀野市〕磐越自動車道（安田 IC） 〔胎内市〕日本海東北自動車道（中条 IC） 〔聖籠町〕日本海東北自動車道（聖籠新発田 IC） 〔阿賀町〕磐越自動車道（三川 IC、津川 IC）
高速バス路線	【県内高速バス路線】 新潟市⇄長岡、十日町、柏崎、高田・直江津、糸魚川、 三条・燕、五泉・村松 【主な県外高速バス路線】 新潟市⇄東京、高崎・前橋、千葉（浦安）、長野、富山、金沢、 大阪・京都、名古屋、仙台、郡山、会津若松、山形
鉄道	JR 東日本（上越新幹線、羽越本線、信越本線、白新線、 磐越西線、越後線、弥彦線）
空港	〔新潟市〕新潟空港
港湾(国際拠点港湾)	〔新潟市〕新潟港（西港区、東港区） 〔聖籠町〕新潟港（東港区）

(資料)

- ・新潟県ウェブサイト「高規格幹線道路（高速道路）の整備」
- ・各高速バス運行会社ウェブサイト
- ・JR 東日本ウェブサイト

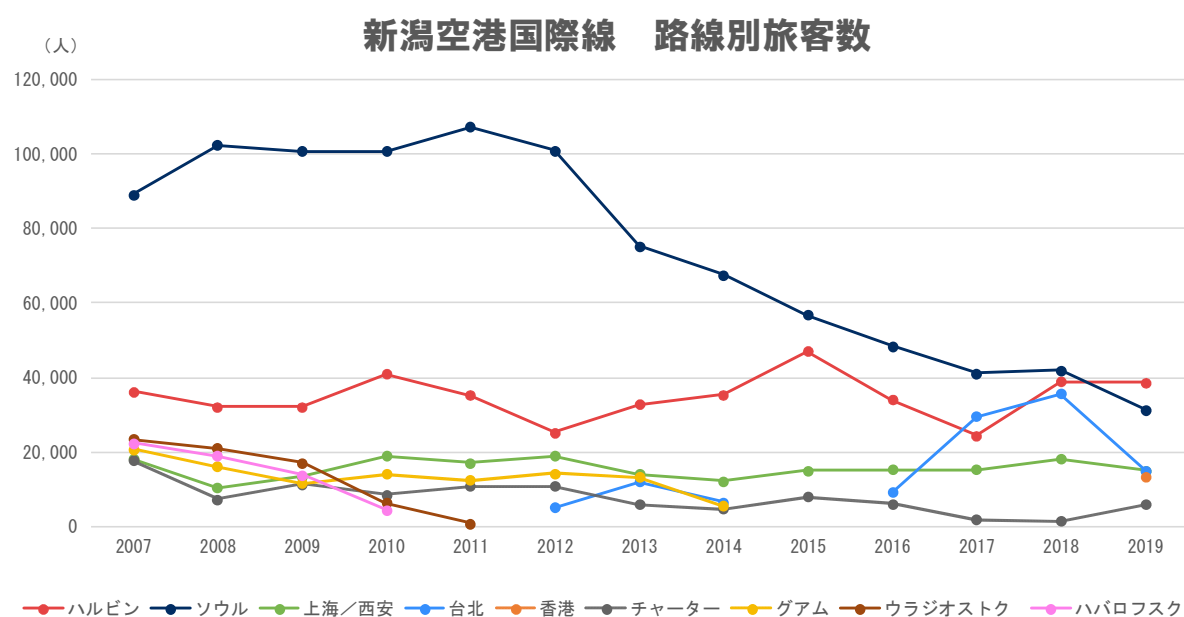
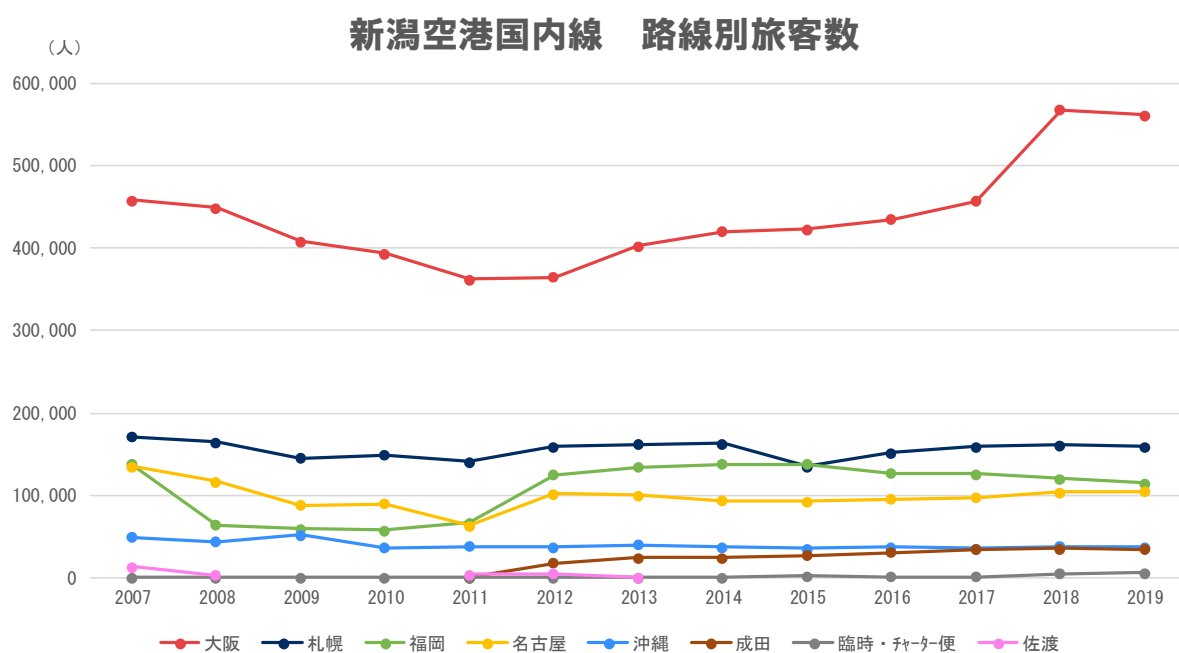
・主要鉄道駅 1 日平均乗車人員数



(資料)

・JR 東日本ウェブサイト「各駅の乗車人員 (2019 年度)」

・新潟空港旅客数



(資料)

新潟県ウェブサイト「令和元年度新潟空港利用状況」

(2) 圏域における連携協約以外の事務の共同処理

ア 協議会

三市南蒲地域視聴覚教育協議会（三条市、加茂市、見附市、田上町）

イ 機関等の共同設置

新潟県・新潟市公害健康被害認定審査会（新潟県、新潟市）

新発田地域予防接種健康被害調査委員会（新発田市、阿賀野市、胎内市、聖籠町）

新発田市障害者介護給付費等支給審査会（新発田市、胎内市、聖籠町）

加茂市、加茂市・田上町消防衛生保育組合公平委員会（加茂市、加茂市・田上町消防衛生保育組合）

燕市弥彦村介護認定審査会（燕市、弥彦村）

燕市弥彦村予防接種健康被害調査委員会（燕市、弥彦村）

ウ 事務の委託

児童自立支援施設に関する事務の委託（新潟市→新潟県）

教育事務委託（学齢児童）（新潟市→阿賀野市）

教育事務委託（学齢生徒）（新潟市→阿賀野市）

下水道に係る汚泥処理施設の運営に関する事務（三条市→新潟県）

水道事業に関する事務（新発田市→阿賀野市）

下水道使用料徴収事務（新発田市→阿賀野市）

公共下水道事業に関する事務（新発田市→胎内市）

下水道に係る汚泥処理施設の運営に関する事務（加茂市→新潟県）

障害者総合支援法に基づく障害者等の障害支援区分の認定に係る審査判定事務（胎内市→新発田市、聖籠町→新発田市）

し尿及び浄化槽汚泥の処理に関する事務（聖籠町→新発田市）

し尿処理（弥彦村→新潟市）

小中学校児童生徒の就学に関する事務（小学校）（弥彦村→燕市）

小中学校児童生徒の就学に関する事務（中学校）（弥彦村→燕市）

エ 一部事務組合

さくら福祉保健事務組合（新潟市、加茂市、五泉市、阿賀町）

下越福祉行政組合（新潟市、新発田市、村上市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、関川村、粟島浦村）

新潟県中越福祉事務組合（長岡市、三条市、加茂市、見附市、田上町）

西蒲原福祉事務組合（新潟市、燕市、弥彦村）

新潟県中東福祉事務組合（新潟市、五泉市、阿賀町）

新潟県三条・燕総合グラウンド施設組合（三条市、燕市）
三条・燕・西蒲・南蒲広域養護老人ホーム施設組合（新潟市、長岡市、三条市、燕市、田上町）
豊栄郷清掃施設処理組合（新潟市、聖籠町）
加茂市・田上町消防衛生保育組合（加茂市、田上町）
新発田地域広域事務組合（新発田市、胎内市、聖籠町）
新潟東港地域水道用水供給企業団（新潟市、新発田市、聖籠町）
三条地域水道用水供給企業団（三条市、加茂市、田上町）
五泉地域衛生施設組合（五泉市、阿賀野市、阿賀町）
阿賀北広域組合（新潟市、阿賀野市）
燕・弥彦総合事務組合（燕市、弥彦村）
新潟県市町村総合事務組合（県内全市町村、21 一部事務組合、1 広域連合）

オ 広域連合

新潟県後期高齢者医療広域連合（県内全市町村）

カ 定住自立圏

新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏（新発田市（中心市）、胎内市、聖籠町）
燕・弥彦地域定住自立圏（燕市（中心市）、弥彦村）

※圏域内の市町村が構成員に含まれる地方自治法上の事務の共同処理及び定住自立圏のみ記載している。

(3) 都市機能の連携イメージ

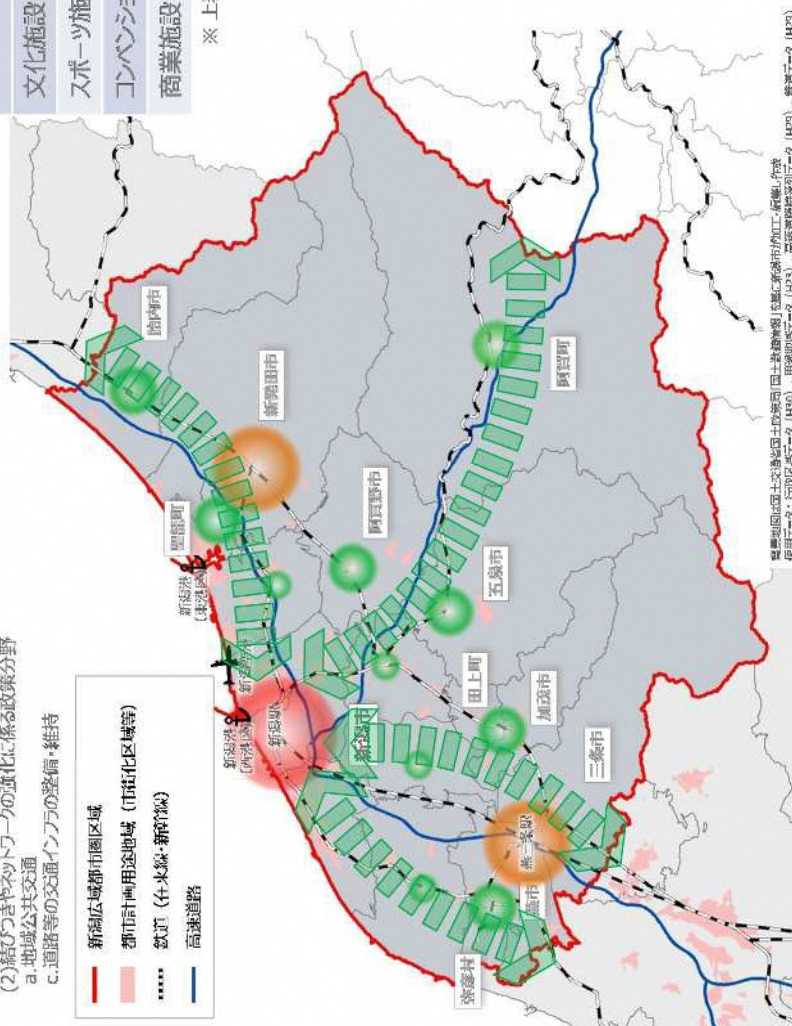
新潟広域都市圏における都市機能の連携イメージ

基本的な考え方

○圏域内に立地する医療機関、商業施設等の都市機能の連携や役割分担を図るとともに、圏域全体の交通ネットワークの効率性を向上させることによって、人口減少下においても生活利便の確保や持続的な経済成長を目指す。

※本資料は、新潟広域都市圏ビジョンの以下の部分の内容を補完するもの

- 高次の都市機能の集積・強化
 b. 高度な中心地と周辺域内外へのアクセス拠点の整備
 国産全体の生活関連機能サービスの向上
 (1) 生活機能の強化に係る政策分野
 d. 土地利用
 (2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野
 a. 地域公共交通
 c. 道路等の交通インフラの整備・維持



分野	高次都市機能	役割分担
交通拠点	空港	新潟市
	国際拠点港湾	新潟市、聖籠町
	新幹線駅	新潟市、三条市・燕市
医療機関	特定機能病院	新潟市
教育機関	大学	新潟市、新潟田市等
	高等学校	相互補充
文化施設	図書館・美術館・博物館等	相互補充
スポーツ施設等	体育館等	相互補充
コンベンション	国際会議場	新潟市
商業施設	百貨店	新潟市

※ 上表は現行の各種施設の立地状況を基に作成したものであり、今後変更等があり得るものである。

高次広域都市機能集積地区（新潟駅周辺）

新潟駅前から延びる都心軸を中心として、高次都市機能の強化を図るとともに、本州日本海側の代表都市に相応しい風格ある都市空間の形成を図る。

広域都市機能集積地区
(新発田駅・燕三条駅周辺)

高次広域都市機能集積地区と連携しつつ、新発田駅・燕三条駅周辺を中心として、広域的な都市機能の確保・充実を図る。

地域都市機能集積地区（連携市町村の中心部等）

高次広域都市機能集積地区等と連携しつつ、地域住民の日常生活に必要な都市機能の確保・充実を図る。

廣域連携軸

高次広域都市機能とその他の都市機能（更には圏域外）をつなぐ基幹交通軸であり、この軸と結節するフィードー路線も含めて、圏域全体の交通ネットワークの確保・充実を図る。

※これらの広域連携は、かつて新潟湊（沼垂湊）と各地を繋いだ舟運系統（長岡船道・蒲原船道・津川船道・沼垂船道）と概ね一致

新潟広域都市圏ビジョン

発行・編集：新潟市 政策企画部

〒951-8550

新潟市中央区学校町通1番町602番地1

TEL 025-226-2153

FAX 025-224-3850

第1期策定 平成29年（2017年）3月

第2期策定 令和 3年（2021年）3月